

私立獣医科大学における臨床教育および
動物病院の相互評価報告書

令和3年3月

一般社団法人 日本私立獣医科大学協会

目 次

I 経緯と調査の方法

1. 経緯と調査の方法	1
2. 調査項目	1
3. 評価者	2

II 各調査項目における相互評価

1. 獣医学科における臨床教育および動物病院の理念・目的・目標	5
2. 教育研究組織	14
3. 教育課程・教育方法	21
4. 学生	36
5. 教職員	44
6. 管理運営	54
7. 財務	58
8. 研究教育環境	61
9. 社会連携	64
10. 社会的責務	67
11. 全体評価	71

III 大学別自己点検・評価の別紙資料

1. 酪農学園大学	77
2. 北里大学	84
3. 日本獣医生命科学大学	90
4. 麻布大学	100
5. 日本大学	106

(別紙資料 項目)

- 1-1. 獣医学科 臨床系講座・教室(研究室)名 臨床系教育科目・単位数
- 1-1. 獣医保健看護学科 臨床系講座・教室(研究室)名 臨床系教育科目・単位数
- 2-1. 獣医学科 臨床系教育科目・単位数・教員数(必修科目・選択科目)
- 2-2. 獣医保健看護学科 臨床系教育科目・単位数・教員数(必修科目・選択科目)
- 3-1. 獣医学科 臨床系担当教員の構成率
- 3-2. 獣医保健看護学科 臨床系担当教員の構成率
4. 動物病院の組織図
5. 動物病院の診療科名と教員数

6. 診察要員（小動物関係・産業動物関係）
7. 動物病院の支援人員
8. 動物病院の総面積と診療収入
9. 現在の病院運営経費
10. 動物病院の組織改編予定
11. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

はじめに

一般社団法人・日本私立獣医科大学協会は、その前身である私立獣医科大学協会時代の2002年（平成14年）に、獣医学教育の改善ならびに国際化を目指し第一次相互評価として「私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価」を実施・公表した。そして、それ以降2年毎に学部教育・大学院教育・教職員組織・教育施設設備・財務・学生生活・就職・付属動物病院などの幅広い項目について相互評価を継続してきた。

2008年、文部科学省に「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」が発足し、2011年には国際水準の獣医学教育の実施に向けた改革工程が示された。その中には、獣医学教育モデル・コアカリキュラムの策定・実施と共用試験の導入・実施が含まれていた。これを受け、各大学ではカリキュラムの変更を行い、順次コアカリに準拠した獣医学教育をスタートさせた。共用試験は、参加型臨床実習に参加する学生の質を担保するためであり、このためには臨床教育の改善が必須となった。そして、臨床教育の高度化に対応しうる動物病院の充実と参加型臨床実習の充実が求められるようになった。

そこで、2009年の第五次相互評価で行った「私立獣医科大学における臨床教育および動物病院の相互評価」を約10年ぶりに再度行うこととした。第五次相互評価時には、コアカリや参加型臨床実習は始まっておらず見学型の臨床実習が各大学とも中心であった。しかし、2020年度には各大学ともコアカリに準拠した獣医学教育が完成し、参加型臨床実習も始まって4～5年が経過しており、臨床教育の改革と参加型臨床実習に向けて付属動物病院の充実が図られていると思われる。今回、動物病院を含めた臨床教育の相互評価を実施し、私立5大学の現状を一覧とした。それぞれの大学が今後さらなる臨床教育の改善に向け、教職員組織、施設設備について自助努力を行い、獣医学教育の質の向上と国際水準化に向けた取り組みを継続していきたいと思う。

最後に、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い各大学とも遠隔授業などこれまでと全く違った対応をせまられた年であった。そのような状況の中、相互評価作業に取り組まれた私立5大学の教職員各位にお礼を申し上げますとともに、本報告書が各大学における臨床教育の充実・発展のために役立つことを願って止まない。

2021年1月
第10次相互評価 担当
日本獣医生命科学大学
獣医学部長 小山秀一

I 経緯と調査の方法

1. 経緯と調査方法

- 1) 令和2年3月、日本私立獣医科大学協会（私獣協）理事会（メール会議）において、第10次相互評価は、私立獣医科大学における臨床教育および動物病院の相互評価をテーマとすることが承認された。
- 2) 同年6月、相互評価の依頼文、調査項目、調査票等を加盟大学事務局宛に送付し、調査依頼を行った。
- 3) 同年6月、私獣協理事・代議員会において、相互評価の進捗状況、その後の予定について報告した。
- 4) 同年9月、各大学から調査票が提出された。
- 5) 各大学からの調査票の確認を行い、令和2年10月～11月にかけて担当校である日本獣医生命科学大学で調査票の取り纏めを行った。
- 6) 令和2年12月、各大学に評価委員の選出をお願いし、令和2年12月～令和3年1月にかけて評価委員が分担して相互評価を実施した。
- 7) 令和3年1月～2月にかけて評価書案の取り纏めを行った。
- 8) 同年2月、編集作業を実施し、相互評価委員並びに各大学に意見、指摘などの修正を依頼した。
- 9) 各大学からの意見・指摘などに対応後、報告書が私獣協事務局に提出された。
- 10) 上記1. 経緯に示した期間に調査を行い、データは令和2年5月1日現在を基準にしたものである。

2. 調査項目

- 1) 獣医学科における臨床教育および動物病院の理念・目的・目標
- 2) 教育研究組織
- 3) 教育課程・教育方法
- 4) 学生
- 5) 教職員
- 6) 管理運営
- 7) 財務
- 8) 教育研究環境
- 9) 社会連携
- 10) 社会的責務

3. 評価者

日本獣医生命科学大学	獣医学部長	小山 秀一
	獣医学科長	田中 良和
酪農学園大学	獣医学類長	樋口 豪紀
北里大学	獣医学科長	岡野 昇三
麻布大学	教授	折戸 謙介
日本大学	教授	中山 智宏

Ⅱ 各調査項目における相互評価

1. 獣医学科における臨床教育および動物病院の理念・目的・目標など

臨床教育および動物病院の理念・目的・目標について、平成21年度の第5次相互評価時と同様の10項目について5大学の現状とその評価を解析した。

5大学とも基本理念に変更はなく、社会的需要および要求に応える高度獣医療に対応した教育目的・目標が設定されている。さらに、酪農学園大学と日本獣医生命科学大学では獣医保健看護学の教育目的・目標も設定されており、ホームページおよびシラバス等を通して教員および学生に周知されている。また、学外に対しても、ホームページや印刷物を用いて公表を行っている。

動物病院の理念・目的・目標も明確に設定されているが、第5次相互評価時点からの改善はみられるものの、人的および物的資源のさらなる改善が求められている。

1-1 臨床教育の理念・目的・目標

5大学とも、建学の精神に基づいた臨床教育の理念・目的・目標を設定している。そして、私立獣医系大学の特徴でもある臨床獣医師や動物看護師を目指す学生が多いため、社会が求める獣医療に対応できる獣医師ならびに動物看護師の育成を目標に、高度先端医療やチーム医療の教育を取り入れている。

酪農学園大学では私立大学では初となる欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）による認証取得を目指し2019年度に中期的な取り組み方針を決定している。また、臨床教育の充実を目的とし、臨床系教員の増員を計画している大学が多い（日本獣医生命科学大学、麻布大学、日本大学）。

臨床教育目的・目標・方針の学生および教員への周知に関しては、各大学ともホームページ、シラバスやガイダンスを通して行われており、教員に対しては教授会等の会議体でも実施されている。学外に対してはホームページや大学案内等の印刷物で公表している大学が多い。

1-2 動物病院の理念・目的・目標

5大学とも動物病院の理念・目的・目標は、明確に設定されており、その内容は大学の使命、学習者の要求や社会的需要に対応したものとなっている。しかし、日本獣医生命科学大学では産業動物臨床に関しては、十分な対応となっていないとしている。

アクション・ポリシーに関しては、各大学とも目的・目標に沿った設定がされている。特に、酪農学園大学では2021年度開始の新カリキュラムで欧州基準に沿った臨床教育を可能にするため、近隣の一次診療施設やNOSAI等との連携を図るとしている。

動物病院の理念・目的・目標は、学内にはシラバスやガイダンスで、学外に関してはホームページやパンフレット等の印刷物を通して公表されている。なお、北里大学では教員、学生および学外に対し積極的な周知がされていない現状を改善する予定としている。

1-3 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標に対する評価

臨床教育および動物病院の理念・目的・目標に対する評価では、「おおむね適切である」（日本獣医生命科学大学）と「適切な部分が多い」（北里大学、麻布大学、日本大学）が4大学であり、「適切でない部分が多い」（酪農学園大学）が1大学であった。

酪農学園大学では、教員の異動や参加型臨床実習に伴う教員負担の増加と理由として挙げている。日本大学でも、学生数が多い私立大学の共通の問題として参加型臨床実習への対応を指摘している。各大学とも今後の課題として、参加型臨床実習を中心とした臨床教育のさらなる充実のため努力していく必要性を挙げている。

1-1 臨床教育の理念・目的・目標

表1-1-①理念をふまえた、臨床教育目的・目標が設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学獣医学科は「健土健民」の建学の精神の下、1964（昭和39）年に地域畜産に貢献する臨床獣医師を養成する目的で開設された。それ以来一貫して社会に貢献する獣医教育に邁進してきた。2011（平成23）年から獣医学類と獣医保健看護学類を有する獣医学群に改組となった。『生命を尊ぶ豊かな人間性を持ち、国際的な視野に立って、チーム医療を担う高い実践能力とコミュニケーション能力を身に付けること』を学群の臨床教育目標としている。
北里大	有	臨床教育に特化したものは無く、教育全般の理念・目的・目標を設定している。その中に、「各種動物の疾病診断・治療・予防」、「伴侶動物の高度先端医療」など臨床教育に関する項目が含まれている。
日獣大	有	本学の教育理念は「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」であり、目的は生命科学新時代・環境科学新時代の開拓者として、総合的な生命科学の知と技を錬磨するとともに、人間愛・動物愛の豊で清冽な人材の育成としている。獣医学部は、獣医学及び獣医保健看護学に必須な学術を教育・研究し、併せて学生の人格・素質を統治する。さらに、獣医学と獣医保健看護学の基礎・臨床及び社会的意義について十分認知させるとともに、生命倫理を踏まえ、誠実・公正なる判断と対応ができる人材の育成を目的としている。
麻布大	有	本学の建学精神である『学理の討究と誠実なる実践』を踏まえ、獣医学科では動物の疾病を理解し・診断と治療技術を身につけた獣医師の育成を目標に臨床教育を実施している。
日大	有	臨床教育の理念は獣医学科の教育理念に含まれている。その理念は、動物医療を根幹として、動物の健康維持・増進を図るとともに、ヒトの健康と福祉に貢献することを目的としている。その達成のために、生命活動のメカニズムの探求や疾病の診断・治療・予防はもとより、公衆衛生、野生動物の保護及び環境保全など幅広い領域に対し、社会の要求、要請に応えることができる知識と技術を有した獣医師を養成することである。

表 1-1-②臨床教育目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものですか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	このことは今後の大学教育において極めて重要な主題と捉えている。欧州獣医学教育機関協会（EAEVE: European Association of Establishments for Veterinary Education）による認証取得を目指しているところであり、その中で『教育の目的、大学の使命、学習者の要求、社会の需要』について、常に客観的に把握し、教育・研究・エクステンションが社会の要請に一致した正しい方向に向かうための仕組みづくりに着手している（ステークホルダーや学生組織等）。
北里大	2	臨床教育に特化したものは無い。教育全般の目的・目標は、大学の使命や社会的需要を加味したものである。また、卒業生の約 60% が伴侶動物診療施設に就職するなど学習者の要求を考慮している。
日獣大	1	獣医学科は、高度先端獣医療及び生命科学領域の進展等の新たな社会の変化に対応できる先導的な獣医学の教育・研究を行い、自ら学び、考え、問題を解決する能力を養うことによって、飼育動物診療、動物に関する保健衛生の向上、畜産業の発達に寄与する獣医師の育成を目的としている。獣医保健看護学科は、ヒトと動物の福祉と共生に寄与するために、伴侶動物のみならず産業動物及び野生動物の生命を尊重し、獣医保健学及び獣医看護学に基づき、進展する高度先端獣医療をはじめとする諸科学の教育を体系的に行い、社会貢献に寄与する獣医療技術者を育成することを目的としている。
麻布大	1	本学では卒後の進路として小動物・産業動物を含め臨床獣医師を目指す獣医学科学生が 70% 以上を占める。また、社会的需要としても伴侶動物の高度医療や産業動物における診療技術面の高度化も要求されている。これらに対応するため、産業動物診療施設を更新するとともに、附属動物病院に来院する症例を教材に臨床教育の充実を図っている。
日大	1	臨床教育の目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものである。具体的に大学の使命は、社会の要求、要請に応えることができる知識と技術を有した獣医師を養成し、さらに、我が国獣医学の国際化を図ることにある。そのために、教育効果の高いカリキュラムの編成を行っている。また、全国の獣医科大学において、近年、総合参加型臨床実習が導入された。本実習は獣医学教育の総決算としての位置付けであり、その教育内容は、学習者の要求に応えるものでなければならない。そのため、本学では、本実習内容を創意工夫し、年を追って充実させている。このように優秀な獣医師を輩出する努力は、当然、社会的需要を加味したものである。

表 1-1-③臨床教育目的・目標に添った方針（アクション・ポリシー）は設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の基準を本獣医学群の国際化への一つの足がかりとして各種ポリシーの見直し、カリキュラム再編、施設整備等を実施しているところである。2014年度には20年後を見据えた「獣医学群改革基本方針」を策定するとともに、2019年度には変化する現状を踏まえ「獣医学群の今後6年の取り組み方針」を決定した。
北里大	有	カリキュラムポリシー、カリキュラムマップで目的・目標に沿った教育方針が設定されている。
日獣大	有	平成30年（2018年）に制定した中長期計画の中で、戦略的中期人事計画・教育組織の策定があり、臨床教育の充実を目的とした人事計画が進められている。また、付属動物医療センター拡充計画で施設の充実とともに専任獣医師及び動物看護師の増員を計画し、学部教員とともに学生教育に当たる予定である。産業動物診療部門についてもNOSAI東京の指定獣医師となり診療を行っている。
麻布大	有	臨床教育の充実を図るために、学科内の教員の配置を見直し、臨床系教員の増員を実施し、動物看護師等の病院スタッフの増員を実施してきた。今後、新任教員を迎え入れて、臨床教育の充実化を図る予定である。
日大	有	有能な臨床系教員の補充努力、臨床実習の充実化など、臨床教育の目的・目標に沿った方針が設定されている。特に平成30年度から導入された総合参加型臨床実習の充実化は、最優先の方針である。

表 1-1-④臨床教育目的・目標・方針が学生および教員に周知されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	教育の目的や方針の周知に関しては、『履修ガイド』や本学ホームページで行われているが、今後、特に学生やステークホルダーには、連携組織を整備して、単なる周知ではなく、双方の意見交換が十分に行われる環境を構築する計画である。
北里大	1	獣医学部・獣医学科の理念・目的等について、学生には「学生便覧」、ホームページ、1年次のオリエンテーションならびに1年次配当科目である「獣医学概論」、2年次のキャンパス移動時のガイダンス等によって周知を図っている。教職員に対しては、先の媒体のほか、毎年度、全学的に人材養成目的と3方針の一体的な策定と見直しが行われている。学部・学科の「教育委員会」を開催してこれらを見直したあとに、学科会で協議し、拡大教授会で協議・確認しており、教職員全体に共有を図っている。

日獣大	1	大学ホームページ、学習支援システム、シラバスなどによって学生及び教員に臨床教育の目的・方針が周知されている。また、参加型臨床実習及び獣医保健看護学科の動物医療センター実習についてはガイダンスを通して周知を図っている。
麻布大	1	学部教授会や、臨床系の会議で協議して臨床教育の目標や方針を決定しているため、教員への周知は十分に行われている。また学生へはシラバスや実習前のオリエンテーションを通じて周知している。
日大	1	臨床教育の目的・目標・方針は、獣医学科内会議で報告、協議事項として取り上げられるとともに、シラバス、獣医学科および動物病院ウェブサイト、本学のオンデマンド方式による講義に使用されている Google Classroom、そして、Live Campus 総合ポータルシステムで情報が掲載され、学生および教員に十分に周知されている。さらに、獣医学科4、5年生で開講される各種実習科目においても、学生に臨床教育の目的・目標・方針が繰り返し周知されている。

表 1-1-⑤臨床教育目的・目標・方針が学外に公表されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学ホームページおよび例年開催の保護者懇談会で公表している。
北里大	有	教育全般に関するものは、Web サイトおよび大学案内等で公表している
日獣大	有	大学ホームページ、大学案内などの印刷物を通して学外に獣医学科及び獣医保健看護学科の内容を公表している。加えて、オープンキャンパスを複数回開催して両学科の教員によって受験生に対してより詳細な臨床教育の目的、目標、方針を公表している。
麻布大	有	大学と独立した附属病院のホームページにおいて、教育目標等について公表している。
日大	有	獣医学科および動物病院のウェブサイトおよび学部案内、学科案内、パンフレット等の印刷物を介して、本学の臨床教育の目的・目標・方針が公表されている。なお、この情報は学内だけでなく、動物病院に来院する飼い主に対しても、受付窓口および診療中における口頭、掲示、配布物を通じて説明を行っている。

1-2 動物病院の理念・目的・目標

表1-2-①理念をふまえた動物病院の目的・目標が明確に設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	<p>本学附属家畜病院は、1968（昭和43）年北海道に不足していた牛や馬などの生産動物医療に携わる獣医師の養成、臨床教育および研究を主な目的として開設されてから2004（平成16）年5月附属動物医療センターの落成に至るまで、その使命は以下の通り受け継がれている。</p> <p>1）畜産王国北海道の生産動物医療、教育、研究の拠点を作り、畜産物の生産と安全を守る獣医師を養成する。</p> <p>2）北海道で有数の伴侶動物医療、教育、研究の拠点を創理、動物を介したヒトの心の健康問題に寄与する活動を行う。</p> <p>3）野生動物医学をとおして環境問題研究の拠点を創る。</p> <p>4）臨床と研究および高度教育の連携の拠点になるセンターラボを作り、環境汚染物質・感染病原体分析監視センターを設置する。</p> <p>上記の使命を「建設の理念」とし、獣医臨床教育と学術研究を柱として、動物診療はもとより動物の疾病予防・健康増進などの指導、獣医師の卒後教育、地域社会への動物愛護運動の啓発などに積極的に取り組んでいる。</p>
北里大	有	動物病院の理念を踏まえた目的および目標は、本学附属動物病院規程に明確に設定されている。
日獣大	有	病めるすべての動物のために動物と飼育者の立場に立つことを理念とし、高度先端の知識と技術をもって、最善の獣医療を提供し、同時に、教育施設として良き獣医療人の育成に努めることを目的かつ目標としている。
麻布大	有	大学附属動物病院の理念・目的・目標は、獣医学部学生教育・獣医師に対する卒後生涯教育・飼い主に貢献する診療・臨床研究であることを明確に設定し、ホームページや各種の大学案内等にも明記している。
日大	有	動物病院のウェブサイトおよびパンフレットで、理念をふまえた動物病院の目的・目標が明確に設定されている。具体的には、社会に貢献できる臨床獣医師の養成機関として、また、飼い主の要望に最大限応じられる最先端獣医療を提供することを目的・目標としている。

表1-2-②動物病院の目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものですか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	ディプロマ・ポリシーに立脚したカリキュラム・ポリシーが達成できるよう、組織・施設が配置されている。特に2021（令和3）年度開始の新カリキュラムでは欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）による認証取得を目指し、欧州基準に則り、国際通用性を有す臨床教育を可能にする組織・施設を目指し、現在改変している。

北里大	2	動物病院の目的と目標は、「高度な技術と人間性豊かな獣医師の育成」、「基幹病院としての新しい獣医医療技術の提供と地域貢献」、「飼い主の人権と価値観の尊重」であり、質問の要件を十分に満たしている。
日獣大	2	本学では卒後の進路として小動物の臨床を目指す学生が多数いる。また社会的需要としても伴侶動物の高度医療が要求されているため、これらに対応できる獣医学および動物看護学教育を行っている。一方、産業動物の臨床獣医師を目指す学生も一定数いるが、こちらについては学習者の要求や社会的要求に対応するべき努力をしているところである。
麻布大	1	本学では卒後の進路として小動物・産業動物を含め臨床獣医師を目指す獣医学科学生が全体の70%以上を占める。また、社会的需要としても伴侶動物の高度医療や産業動物における診療技術面の高度化も要求されている。それらを加味して、附属動物病院の目標を決定している。
日大	1	社会に貢献できる獣医師を養成することは、大学の使命である。平成30年度から導入された総合参加型臨床実習は動物病院内で実施される重要実習であることから、その充実化を図っている。また、高度獣医臨床にも十分に対応できるように、施設、設備の充実化に対してたゆまぬ努力を続けている。地域の二次診療病院である本学動物病院は、高度獣医療施設として、社会的需要および要求に応え、日々充実化させることを念頭に運営が続けられている。社会的需要および要求に沿った動物病院の充実化は、二次診療のためだけにあるのではなく、ひいては獣医学科学生の学習への要求を満たすことに繋がっている。

表1-2-③動物病院の目的・目標に沿った方針（アクション・ポリシー）は設定されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	2021（令和3）年度開始の新カリキュラムにて実行される欧州基準に則り、国際通用性を有す臨床教育を可能にする組織・施設の改変、診療頭数の設定、近隣1次診療施設や北海道NOSAI等の関連機関との連携を図っている。
北里大	有	動物病院の方針は、「教育研究活動の推進」、「地域社会への貢献」、「動物愛護精神の普及と啓発」、「飼い主の権利と価値観の尊重」を4つの柱として構成されており、目的および目標に沿ったものになっている。
日獣大	有	二次診療施設として飼い主や紹介病院のニーズに応えるべく多くの専門診療科に分かれて高度な獣医療を提供するとともに臨床教育や卒後教育にも力を注ぐなど人材育成にも力を入れることを目的としている。これをアクション・ポリシーとしている。
麻布大	有	学科内の教員の配置を見直して臨床系教員の増員を実施し、動物看護師等の病院スタッフの増員を実施してきた。今後、新任教員を迎え入れて、動物病院としての充実化を図る予定である。

日大	有	動物病院の目的、目標に沿った方針は、学生教育、研修医制度、卒後教育、そして二次診療施設としての充実である。動物病院は学生が実際の臨床現場に参加することで、臨床獣医学を体系的に学習ができる場として充実化している。また、獣医師に対しては、卒後臨床研修の一環として、全診療科研修（2年間）と専門診療科研修（2年間）の計4年間の臨床研修プログラムを確立し、実施している。さらに卒後教育の一環として、臨床獣医師（開業医、勤務医、研修医など）や学生を対象に一線で活躍している学内外をはじめ海外からの講師を招いてセミナーを開催している。さらに、飼い主の要望に最大限応じられる最先端獣医療を提供するため、優秀な教員およびスタッフを集め、また、高度医療機器の設備維持に努めている。
----	---	---

表1-2-④動物病院の目的・目標・方針が学生および教員に周知されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	2	『履修ガイド』にディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを明記して、年度初めのガイダンスで学生に周知している。本学ホームページにおいてポリシーを公表し、教員を含め学外にも周知している。
北里大	2	動物病院の目的・目標および方針は、動物病院規程に設定されているものの教員や学生に対する積極的な周知はなされていない。今後は、動物病院運営報告書あるいは学部ホームページおよびパンフレット等で周知するよう改善を行う。
日獣大	2	獣医学科内においては以前と比較すると周知率は向上していると思われる。
麻布大	1	病院内における産業動物系ならびに小動物系の部門会議や、病院の意思決定機関である病院運営会議等で協議の上に病院の目標設定や方針を決定しているため、教員への周知は十分に行われている。学生に対しては、シラバス等や病院実習ガイダンスで周知している。
日大	1	学生にはシラバスおよび総合参加型臨床実習のガイダンスにおいて、本学動物病院の目的・目標・方針の説明を行っている。また、教員に対しては、新年度に開催される各種教育訓練、月例の科長会議において、これらを周知させている。

表1-2-⑤臨床教育目的・目標・方針が学外に公表されていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	附属動物医療センターホームページの「概要」で公表している。
北里大	無	④と同様、動物病院の目的・目標および方針は、HPおよび学部パンフレットでの明示がないため、積極的に学外に公表されているとは言えない。この点については今後改善を行う予定である。
日獣大	有	本学のホームページ、大学案内および動物病院のパンフレットなどのメディアを通して公表されている。

麻布大	有	大学と独立した附属病院のホームページにおいて、附属病院の目的・目標・方針について公表している。
日大	有	動物病院のウェブサイトおよびパンフレットを通じて、学外に公表されている。

表 1 - 3 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標に対する評価

大学	評価	コメント
酪農大	3	教員の異動に伴う診療科の縮小や参加型臨床実習に伴う教員負担の増加等により、附属動物医療センターでは地域からの要望に十分答えられない状況が危惧されていた。しかし、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）受審に向けて臨床教育の充実を図るため補助教員の補充が計画されており、Day One Competencies を明確にし、少人数での臨床教育を展開する予定である。附属動物医療センターの理念や方針に沿った運営を目指すことに加え、課題の解決・改善に向けて努力している。
北里大	2	動物病院の理念、目的および方針は、大学の理念に沿うものとなっており、学生や社会の要求を十分に満たすものとなっている。しかし、これらが学内外に対して積極的に公表されていないことに関しては今後改善を行う必要がある。
日獣大	1	二次診療施設として地域の開業獣医師から厚い信頼を得ており、毎年高い診療実績を上げている。学内でも高く評価され、臨床教育充実してきている。また、他大学の卒業生からも多くの臨床研修獣医師の希望者が来ており評価されている。しかし、さらなる充実のため中長期計画に沿った具体的なアクションが必要である。
麻布大	2	学生や社会のニーズに即応できる体制が必要である。また老朽化した小動物臨床施設の更新が必須である。
日大	2	本学動物病院は、高度獣医療施設として、飼い主および地域の開業獣医師から厚い信頼を得ている。また、教育施設としては、総合参加型臨床実習においては、1 学年 120 名以上と多人数の学生に対して、満足度が高く、効果的な学習環境を提供する上では、課題が多いことも事実である。学生の学習意欲を満足させ、そして、社会の要求に応える獣医師を輩出するような充実した臨床教育を行うためには、動物病院の運営に際して、たゆまぬ創意工夫の努力を続けていくことが重要である。

2. 教育研究組織

臨床教育研究組織に関して前回調査（平成 21 年）と 10 年経過した現状との間で比較評価した。今回の各大学からの回答では「適切」または「適切な部分が多い」という回答となっており、概ね 10 年前より臨床教育研究組織は適切に運営されてきている。各大学の病院の位置づけ、臨床研究教育組織としての評価には多少の差違はあるものの、学内に臨床教育に関する運営委員会などの意志決定機関を設置しており、臨床教育研究がより適正に管理・運営されている。また、前回同様、5 大学とも臨床教育組織と動物病院とは各々別に組織されているものの、連携関係が構築されていることが示された。

2-1 臨床教育研究組織

前回調査と比較し、酪農大以外の 4 大学は「おおむね適正～適切な部分が多い」と前回と同様であった。一方、酪農大は「おおむね適切である」から「適切でない部分が多い」に評価が変わっている。この理由としては、現在、酪農大では欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）認証に向けてカリキュラムおよび組織の改変を進めており、特に新カリキュラムの参加型実習の拡充に対する必要な教員数の確保が進められている。近々に認証に合致する組織が構成される予定とされている。北里大では、研究室配置の修正を行った他、「獣医臨床試験センター」を設置している。日獣大では、全臨床系教員による「総合臨床実習運営委員会」が組織され、獣医保健看護学科、動物医療センターと連携して参加型臨床実習を円滑に運営している。麻布大では、「特任教員」の雇用により診療・教育の充実を図っている。日大では、応用系研究室を主体とした「動物医科学センター」が臨床系と連携をとることにより、臨床教育研究の充実を図っている（表 2-1）。

2-2 臨床教育研究の管理体制

5 大学とも運営委員会の設置など、運営を含めた診療、実習や臨床研究に関する管理責任体制は概ね確立されている（表 2-2）。臨床系教員と管理委員会の連携は密に取られており、実務にあたっては小動物系と大動物系の教室単位で実施されている事が多く、平成 21 年度の本調査の状況と大きな変化はない。

2-3 臨床教育研究組織内での動物病院の位置づけ

5 大学全てにおいて、臨床教育組織と動物病院組織は別途に設定されている（表 2-3 ①）。酪農大、日獣大、麻布大の動物病院は大学附属であり、北里大と日大は獣医学部の附属組織としている。多くの大学では、臨床系教員は動物病院の医局員を兼務しており、当番制の診療活動し、臨床教育組織と動物病院は十分な連携関係が維持されている（表 2-3 ②）。

2-4 臨床教育研究組織に対する評価

臨床教育研究組織に対する評価として、教員数の問題などもあるが、各大学の努力により対応されている（表 2-4）。このうち酪農大は EAEVE の認証取得を目指し国際評価を受けることが計画されている。日獣大では獣医学科と看護学科の学生と一緒に学ぶチーム医療体制に基づく教育環境により教育・研究が良好に機能している。麻布大学では特任教員を採用、また動物看護師の増員によって人的補充し適正な運営状況にある。

2-1 臨床教育研究組織

表2-1-①臨床教育研究が充分できるような、適切な組織上の配慮、措置はありますか？

大学	有無	評価	コメント
酪農大	有	3	本学の建学の精神のもとに、獣医学類と獣医保健看護学類双方が「One Health」を意識したディプロマ・ポリシーを掲げて、社会に貢献できる教育研究の充実を図っている。生産動物医療に関する実習動物繋養、飼養経費予算は現在も全国一を維持している。伴侶動物分野では、教員の研究・教育・臨床に対するトータルの負担が現状では大きく、臨床研究が思うように進まない状況である。この要因の一つとして人的不足があげられ、現在 EAEVE 認証に向けて組織改変を計画中である。参加型臨床実習を充実しつつ、教育の質保証の担保、教員の適正な負担を図る。また、臨床研究の円滑な活動展開に向けて、現在、全学として「臨床研究倫理委員会」の設立に向けて作業中である。
北里大	有	1	教育研究を動物種で大きく2つに特化し、小動物部門には5研究室、大動物部門には3研究室（臨床教育推進室含む）があり、教育・研究の一つの単位として組織されている。また、新たに関連する組織として獣医臨床試験センターが設置されている。
日獣大	有	1	獣医学科では5年次後期および6年次前期に動物医療センターでの参加型臨床実習が行われている。この参加型実習が円滑に実施できるよう、全臨床系教員からなる総合臨床実習運営委員会が組織され、実習全般を統括している。総合臨床実習運営委員会の中には、小動物小委員会と産業動物小委員会が組織され、それぞれの実習の特性や時流に応じた調整・企画ならびに実務行い、総合臨床実習運営委員会にてそれらの情報が共有できる仕組みになっている。さらに動物医療センターでの参加型臨床実習では、総合臨床実習運営委員会と獣医保健看護学科の臨床系教員ならびに動物医療センター専従教員の協力体制が構築されており、獣医学科の臨床系教員のみでは十分カバーできない診療科目や総合診療科の診療を学べる体制が作られている。獣医保健看護学科では、3年次後期に必修科目である動物医療センター実習1、4年次前期に選択科目である動物医療センター実習2を実施している。獣医保健看護学科は部門制を敷いているため、分野に関わらず全臨床系教員が常に協力体制を保ち、情報も共有している。実習においては動物医療センター動物看護師の協力も得、獣医学科の診療科目や総合診療科へ参加することで、獣医学科の教育と相互補完の体制を確立している。
麻布大	有	2	本学の教育体系として、基礎・病態・予防・生産・臨床の5系があり、大動物は生産獣医学系、小動物は臨床獣医学系が担当している。特任教員を雇用して、診療・教育の充実化を図っている。
日大	有	1	臨床教育研究の充実化を図るためには、臨床系教員のみで集まって議論するのではなく、広い分野からの研究者と交流し、ディスカッションすることが重要である。本学には動物病院と同じ建屋内に応用系研究室が配置されている動物医科学センターがある。動物病院と同センターとの連絡通路を開放することにより、動物病院、臨床系研究室、応用系研究室との間の学生および教員の直接的な往来が自由となり、臨床教育研究充実の礎となっている。各研究室が有する得意分野の知識、技術等が特定の研究室内で偏在することなく、オープン化することにより、臨床系教員および学生が包括的な知識を得ることが容易となり、充実した教育研究を行うことが可能となっている。

表2-1-②臨床教育研究を進めるにあたり、学内での意志決定機関は確立され、適切に機能していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の国際化を展開するにあたり、学群内に2020年度から「教育改革推進室」を設置し、臨床教育研究の質の保証の確保に向けて検討している。現在、全学として「臨床研究倫理委員会」の設立に向けて作業中である。
北里大	1	獣医学科内には学科カリキュラム委員会、系内教育検討委員会、獣医学教育推進委員会、病院会議が設置されており、学部には教育委員会が設置されている。これらの委員会の意見を学科会で協議し、教授会で協議・確認することで意志決定が行われている
日獣大	1	<p>獣医学科では、臨床実習の具体的な内容については、小動物小委員会と産業動物小委員会にて検討され、総合臨床実習運営委員会にて承認を得る仕組みとなっている。さらに、この内容については最終的に学科会で報告され、検討された後に承認・決定される。他の授業・実習との調整については、教務委員会と総合臨床実習運営委員会の協力のもと調整が行われている。</p> <p>獣医保健看護学科では、臨床実習の単位・時間数は認定動物看護師カリキュラムに沿った内容とし、具体的な項目は担当教員を中心に臨床部門の会議等で決定している。</p> <p>獣医学科と獣医保健看護学科の実習の調整は、獣医保健看護学科と総合臨床実習運営委員会の間で合同の打ち合わせ等を行うなど綿密に協力し合い、最終的には学部教授会が意思決定機関となっている。</p>
麻布大	1	臨床獣医学系会議と生産獣医学系会議で協議し、運営会議で諮り、獣医学部教授会で決定するシステムがおおむね機能している。
日大	1	獣医学科内では、科内会議および科内教授会があり、臨床教育研究に対する大枠について、決定している。動物病院内では、臨床系内教授会および科長会議が開催され、大枠に対する具体的な方策をきめ細かく決定している。また、学部には、家畜病院経営戦略委員会があり、中長期的な視野で、動物病院のあり方、方針を決定している。これらの会議および委員会は、動物病院の意志決定機関として、それぞれ異なる視野で動物病院の諸問題や課題の解決のために機能している。

表2-1-③臨床教育研究組織が大学の使命・目標や学習者の要求に対応できるよう、充分機能しているか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	1年次から6年次において、高い人間性を育み幅広い知識・技術を効率よく学ぶためのカリキュラムを設定している。特に、3年次から4年次の臨床基礎教育、5年次の臨床応用教育の充実を図るのために、感染・病理学分野、生産動物医療学分野、伴侶動物医療学分野における教育ユニットを再編する予定である。また、臨床系分野においては専任教員ならびに嘱託教員を純増する予定である。
北里大	1	学科カリキュラム委員会、系内教育検討委員会、獣医学教育推進委員会、動物病院会議などで大学の使命や目標に向かっていくことを確認している。また、学期終了時に授業評価アンケートを実施しており、さらに「高等教育開発センター」が「北里大学における学修等に関するアンケート」調査を行い、学習者の要求をくみ上げ、教育改革に活用している。
日獣大	1	総合臨床実習委員会が大学の使命・目標に沿った臨床実習の基本方針を策定している。動物医療センターでの臨床実習では、小動物小委員会の統括の下、学習者の要求に対応できるよう総合診療科から各専門科診療、さらに放射線治療などの先端獣医療まで幅広く実習を行っている。また、学習者が各診療科のカンファレンス、レクチャー、実技教育などに参加できるようにしている。産業動物の実習については、全国のNOSAI関係機関を中心とした診療施設と連携して実習を展開し、産業動物の実臨床に則した教育が行われている。実習終了後は、NOSAIより獣医師を招いて症例検討会を実施している。これらを円滑に進めるよう産業動物小委員会が機能している。臨床実習では、実習後に学習者に対してアンケートを行い、総合臨床実習委員会で問題点や強化すべき点などを抽出し、次年度以降の実習内容の改善に役立てている。獣医保健看護学科では、認定動物看護師カリキュラムに基づいて動物看護師育成に必要な実習項目を臨床部門の全教員による会議で策定し、実施している。実習後には症例発表によるプレゼンテーションを全学生が実施し、その準備・指導を通じて学習者の要求に対応している。
麻布大	1	臨床獣医学系会議と生産獣医学系会議で協議を行っている。実習後には、学生へのアンケートにより、学習者側の要望や考えを理解するように努めている。また寄附講座設置を通じて、研究者の要求にも対応している。
日大	1	現在の動物病院に課された最も大きな課題は、総合参加型臨床実習の充実化である。国公立大学と比較して4倍の学生数を有する私立獣医科大学では、この課題克服は容易なことではない。学科内および動物病院内の会議で、総合参加型臨床実習充実化のために常に協議を行っている。また、実習終了後には履修学生に対して、アンケートにより問題点や課題を調査し、さらなる実習内容改善のための協議に役立てている。

2-2 臨床教育研究の管理体制

表2-2-①臨床教育研究を進めるにあたり、運営責任を含めた管理体制は確立されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	獣医学群長を責任者とする学群運営協議会は、獣医学類長、獣医保健看護学類長、獣医学類の各5分野長が主な構成員となっている。このうち獣医学類の2分野は生産動物と伴侶動物であり、教育・研究・予算執行やその他の全学・学群の委員会から提出される案件との整合性を取りながら学群を運営している。附属動物医療センターではセンター長、副センター長、事務課長と2学群の教員で構成される動物医療センター運営委員会において、ティーチングホスピタルの活動方針を取りまとめている。
北里大	1	学科カリキュラム委員会、系内教育検討委員会、獣医学教育推進委員会、動物病院会議、学科会、運営委員会、教授会で管理運営体制をチェックしている。
日獣大	1	臨床教育は教務委員会のカリキュラムの管理の下で行われている。具体的な実施については教室単位で行われ、教室の責任者である教授あるいは准教授が責任者となって臨床教育を行っている。動物医療センターおよび学外における産業動物の臨床実習については、獣医学科では総合臨床実習委員会の管理下で行われ、総合臨床実習委員会の委員長が運営責任者となっている。それぞれ総合臨床実習委員会の中の小動物小委員会と産業動物小委員会が具体的に実施し、各小委員会の委員長が責任者となっている。獣医保健看護学科では、臨床実習は臨床部門の管理下で行われ、臨床部門長および動物看護部長が責任者となっている。学科の全臨床系教員協力のもとで実施し、曜日ごとに現場責任者を指定している。
麻布大	1	臨床教育は、臨床系と生産系にそれぞれ系会議と系主任・副主任制を設け、教育カリキュラムの管理運営体制を確立している。研究については、各教員が学生の卒業論文作成に関する研究等も含めて管理運営している。
日大	1	総合参加型臨床実習の実施については、学科内教務委員会および臨床系教員によって構成されている総合参加型臨床実習対策委員会が組織され、有機的に機能している。研究面においては、各研究室が主体となっているが、臨床治験、臨床研究については、臨床研究・治験審査委員会が管理している。

2-3 臨床教育研究組織内での動物病院の位置づけ

表2-3-①臨床教育研究組織と動物病院組織は別個に設定してありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	臨床教育研究組織として獣医学類では生産動物医療学分野と伴侶動物医療学分野の2分野、これに獣医保健看護学類がある。また動物病院組織として動物医療センターには生産動物部門、伴侶動物部門、診療支援部門、動物看護部門が設定されている。

北里大	有	動物病院は学部附属の組織であり、動物病院専任の事務、職員などが在籍する別組織としての位置づけである。
日獣大	有	獣医学部の獣医学科および獣医保健看護学科とも、教育単位としては臨床系教室(獣医学科)あるいは臨床部門(獣医保健看護学科)が担当している。一方、動物医療センターは大学付属施設であり、学部から独立した組織となっている。動物医療センターの診療科は大きく内科系診療科と外科系診療科に分かれ、さらにそれぞれの診療科の中に種々の専門診療科が属する形となっている。獣医学科と獣医保健看護学科の臨床系教員および動物医療センター専任教員がそれぞれの専門性に基づき学部教育の兼務として各専門診療科の診療に従事している。
麻布大	有	臨床教育は臨床系・生産系と獣医学部教授会で運営責任を持ち管理運営している。病院は、大学附属で獣医学部と同格組織として教員を配置し、別個に管理体制を設けている。
日大	有	動物病院は学部の付属施設であり、主治医が獣医学科教員と兼担であることを除けば、獣医学科からは別組織として位置づけられている。

表2-3-②臨床教育研究組織と動物病院組織は関連性がありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	臨床教育研究組織として、獣医学類の生産動物医療学分野教員は動物医療センターの生産動物部門を担当、伴侶動物医療学分野教員は動物医療センターの伴侶動物部門を担当、獣医保健看護学類教員は動物看護部門を担当、診療支援部門においては上記2分野および獣医保健看護学類教員による兼務対応であり、臨床教育研究組織と動物病院組織は密接に関連している。
北里大	有	動物病院組織は一部が専任教員であるが、ほとんどが兼任教員で構成されている。
日獣大	有	獣医学科と獣医保健看護学科の臨床系教員が診療ならびに教育スタッフとして動物医療センターを兼務している。これらの教員は動物医療センターにおいて、1週間に1～3回の診療あるいは検査業務を行っている。また、動物医療センター専任教員および動物看護師は動物医療センターの業務に加え、臨床教育あるいは臨床教育の補助を行っている。病院長、病院副院長、診療科長の役職で獣医学科所属の教員は全て総合臨床実習運営委員会の構成員となっており、動物看護科長は獣医保健看護学臨床部門の所属である。これらの役職者は、動物医療センターにおける臨床実習の実施内容について十分把握している。
麻布大	有	臨床教育の中で実習系はほとんどが臨床センターで実施され、ラウンド実習に関しては、すべて病院で行っている。獣医学部の臨床系教員は、獣医学部専任・病院兼任または病院専任・獣医学部兼任であり、会議等でも十分な連携を持って運営している。

日大	有	動物病院での主治医は、獣医学科教員が兼担で担当していることから、密接な関連性がある。たとえば、獣医学教育科目である総合参加型臨床実習の小動物臨床部分は、当然のことながら動物病院内で実施されている。
----	---	--

2 - 4 臨床教育研究組織に対する評価

大学	評価	コメント
酪農大	2	欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の認証取得を目指して臨床教育の充実を図るために新たなカリキュラムを2021年度からスタートする。これに準じて、伴侶動物医療学分野教職員の純増や獣医学群の教員の再配置、施設整備等を段階的に実施する計画である。これらに加え教職員の意識の醸成を図りつつ、国際水準レベルの達成に励んでいる。
北里大	1	おおむね適切に組織化され、円滑に機能している。
日獣大	1	臨床教育研究にかかわる各組織は適切に運営されており、獣医学科と獣医保健看護学科との連携も良好である。チーム獣医療体制の中で、獣医学生と動物看護学生と一緒に学ぶことは、卒業後の実務を見据えた教育として、双方により実践的な効果を期待することができる。両学科と動物医療センターの連携も十分に取れており、本学の臨床教育研究組織は良好に機能していると言える。
麻布大	1	特任教員の採用や動物看護師の増員などで人的補強を実施しており、おおむね適切に運営されている。更なる人的補強は今後の課題である。
日大	2	欧米の獣医科大学と比較して、学生数に対する教員数が絶対的に不足している。しかし、少人数ながらも、個々の教員が努力することにより、動物病院が臨床教育組織として機能的に運営されていることは、評価に値する。

3. 教育課程・教育方法

教育課程・教育方法について質問(15項目)に対する回答および独自の工夫、自己点検・評価から5大学の実情、問題点などを解析した。平成21年8月調査(第5次相互評価)時点では、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムが策定(平成23年度、24年度改定)されておらず、見学型の病院実習の充実が中心的な課題であった。現在は5大学とも獣医学教育モデル・コア・カリキュラムを基本として実践的な臨床教育の充実に取り組んできており、その中心が参加型臨床実習である。参加型臨床実習の充実のために5大学ともカリキュラムの改訂などを実施して教育改善に尽力してきた。その結果、今回の調査では多くの質問項目で「概ね適切である/充分機能している」と評価された。

しかし、欧米の獣医学教育水準と比較すると実践的な臨床教育を実施するには、施設規模や人員面で満足する値にまでは到達していない。さらに、チーム医療を考慮した動物看護師教育との連携など、5大学が自助努力と協調、適切な競争のもとで臨床教育の更なる発展を遂げることが今後の課題である。

3-1 教育課程

臨床教育目標を達成するために教育課程の編成方針については、5大学において適切に設定されている(詳細は表3-1-①に記載)。モデル・コア・カリキュラムに準拠して5年次前期または後期から開講される参加型臨床実習のために適切に臨床系科目(総論、各論)が編成されている。

臨床教育において授業科目および単位については、モデル・コア・カリキュラムの内容を教育できるように適切に編成されており、各大学において大きな差は認められない(詳細は表3-1-②に記載)。しかし、配当年次は大学により異なり、臨床系科目の一部が低学年から開始されている大学もある。

教育課程の編成方針に則した授業科目・授業内容については、5大学とも概ね適切である(詳細は表3-1-③に記載)。また、動物看護師教育においても適正に編成・配置されている。

倫理面からの教育については、平成21年8月の調査では4大学が高学年で「獣医倫理・動物福祉学」を開講していたが、今回の調査では日大では1年次、日獣大では1・2年次で、酪農大と麻布大では2年次に開講しており、低学年時から獣医倫理・動物福祉学を教育する傾向にある(詳細は表3-1-④に記載)。

臨床教育における実践・実務能力を育成する教育の実践については、充分または概ね適切に行われている(詳細は表3-1-⑤に記載)。動物福祉の観点から生体を使用した実習が実施しにくい状況ではあるが、斉一教育において基本的な臨床知識を習得した後に参加型臨床実習を通して実践・実務能力を育成する教育を行っている。また、学外施設を利用することでより実践的な教育を取り入れている。しかし、課題として動物病院の施設整備や教員の充実などが急務であると回答されている。

臨床型所属教室(研究室)への研究教育経費などの配分については、大学により配分方法に差異があるが、充分または概ね適切に配分されていると回答されている(詳細は表3-1-⑥に記載)。

3-2 教育方法

教育方法・目的については、5大学とも授業内容・教育方法などに充分反映されている(詳細は表3-2-①に記載)。

方針に則した授業内容・授業科目については、5大学ともモデル・コア・カリキュラムに準拠して共用試験、国家試験に対応できる方針に則して授業内容・授業科目が適切に設定されている(詳細は表3-2-②に記載)。

シラバスについては、5大学において毎年作成されており、さらに5大学ともホームページに掲載されている。日獣大では記載内容が簡素化された項目のみが多いとの回答であるが、5大学とも

学生は授業・実習内容を事前に確認でき、各授業に適切に活用されていると評価している（詳細は表 3-2-③に記載）。

モデル・コア・カリキュラムに示された内容については、5 大学全てにおいて教授されている（詳細は表 3-2-④に記載）。また、動物看護教育を実施している大学では、認定動物看護師コアカリキュラムに準拠して教育が行われている。

授業方法の工夫については、5 大学とも医療面接実習、ケーススタディ、症例検討会、視聴覚教育など多岐にわたり工夫されている（詳細は表 3-2-⑤に記載）。

動物病院を活用した教育研究指導の配慮については、概ね適切である（詳細は表 3-2-⑥に記載）。しかし、教員数の不足、学生個人の能力、二次診療施設の特長などにより十分に指導できているか不明な点があるとの回答がある。

動物病院を活用した実践的教育の実施方法の整備については、2 大学では十分に整備されていると回答している（詳細は表 3-2-⑦に記載）。しかし、酪農大では施設の収容能力、教育担当者の不足など適切に整備されていないと回答している。各大学とも施設および指導教員の不足を懸念している。

参加型臨床実習の実施については、5 大学ともに適切に実施されている（詳細は表 3-2-⑧に記載）。しかし、施設の広さや教員が不足しているとの指摘があり、参加型臨床実習をより充実させるためには継続的な創意工夫が必要である。

3-3 結果に対する評価

教育学習結果に対しての評価システムについては、5 大学全てが有しており、学生の授業アンケートを実施している。その結果を教員に FD などを通してフィードバックすることで教育改善に活用されるなど適正に機能している（詳細は表 3-3 に記載）。また、麻布大では学生アンケートで優秀な教員に対して表彰を行っている。

動物看護師教育においても、同様に評価システムが適切に機能している。

3-4 臨床教育における独自の工夫

5 大学それぞれ臨床教育を充実させるために独自の工夫を行っている（詳細は表 3-4 に記載）。平成 21 年 8 月の調査では一部の大学でのみ実施されていた学外（農業共済、海外研修など）での実習が、今回の調査では 5 大学とも学外施設と連携することで教育効果を引き上げる工夫がなされている。また、動物福祉を考慮して視聴覚教育の充実や模型を利用した教育を取り入れており、5 大学でそれぞれの状況に合った工夫がなされている。

動物看護師教育では、卒後の実務を見据えた教育、家畜人工授精師など資格取得に向けた取り組みを行っている。

3-5 教育課程・教育方法に対する自己点検・評価

教育課程の教育方法に対して 5 大学において自己点検・評価が実施され、充分または概ね適切に運用されている（詳細は表 3-5 に記載）。H24 年度版モデル・コア・カリキュラムに準じて参加型臨床実習が実施されている。しかし、社会に貢献できる獣医師を輩出するために、多くの大学で施設面・教員スタッフのさらなる充実が必要であるとの指摘があり、今後はその改善・改革に自己点検評価が活用されることを期待する。

3-1 教育課程

表3-1-①臨床教育目的を達成するために教育課程の編成方針は適切に設定されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	<p>獣医学教育では、現行カリキュラムにおいて総合臨床授業を開講しており、伴侶動物、生産動物とも講義は3年次から、実習は3、4年次から実施し、臨床基礎教育の充実を図っている。講義・実習は内科や外科を専門的視点から学習できる教育内容として配置しており、VetOSCEを見据え、SD取得学生に対する5年次前学期からの斉一の参加型臨床実習（クリニカルローテーション）へ連動性を持たせ、臨床教育の充実を図っている。動物看護師教育では、専門基礎科目において動物の作りや働きおよび感染症を理解するために形態機能学、病原体に関わる基礎知識を習得する。専門科目において、臨床を含む獣医療の関連科目ならびに公衆衛生学を学ぶとともに動物看護に関する専門的な知識・技術を体系的に習得し、学内外での実習で実践することでそれらを深化させる。最終年次には、将来を考え自らの専門性を確立していくために大学独自教育として動物看護師が今後その役目を担っていく動物行動学、栄養学、理学療法及び生産動物看護学分野での基礎と応用を学び、社会で即戦力となる人材を育成できるカリキュラムを展開する。</p>
北里大	1	<p>モデル・コア・カリキュラムを基本とし、大学の特徴も加味しながら適切に設定されている。</p>
日獣大	1	<p>獣医学科現行カリキュラムはコアカリ・CBT/OSCEに準拠したH24年度の全面改正から、H29、30と一部改正（講義名称変更・開講時期変更）を経た物である。CBT/OSCEは5年前期に行われ、5年後期（コア）・6年前期（アドバンス）獣医総合実習（臨床）としてクリニカルローテーションを行っている。R2年度入学生からは今後のコアカリ改訂に柔軟に対応できるよう、さらに改訂が加えられている。獣医保健看護学科は、カリキュラムが必要科目を適切な順序で学べる編成方針となっており、その実体はカリキュラムツリーにも示している。</p>
麻布大	1	<p>臨床教育の編成は、2年次に獣医放射線学を実施して、解剖学で学んだ形態を画像として把握できるようにしている、また獣医学科4年次に獣医外科学・内科学・臨床繁殖学等の総論講義を実施し、5年次前期にそれぞれの各論を小動物獣医総合臨床、産業動物獣医総合臨床として実施している。共用試験合格者には、後期に参加型臨床実習として、小動物臨床実習と産業動物臨床実習を実施している。</p>
日大	1	<p>現行のカリキュラムは、平成25年から実施されている。基礎、応用、臨床教育科目は、5年次前期までに全て完了し、学生は共用試験を受験する。その後、学生はStudent Doctorを取得した上で、5年次後期に開講される総合参加型臨床実習を受講する。このように授業および実習科目が総合参加型臨床実習に向けて編成され、知識および技術が集約されるようにカリキュラムが計画されている。</p>

表3-1-②臨床教育において、授業科目および単位が適切に編成されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	獣医学教育では、4年次までの臨床の基礎教育と5年次の臨床応用教育を齊一として対応して編成している。5年次前期には齊一の参加型臨床実習（クリニカルローテーション）があり、獣医学共用試験に合格してSDを取得した学生が参加する。5年次後半からは、より専門性を学ぶための病院実習の選択科目があり、臨床教育の知識・技術の習熟をめざしている。また特に本学の特色を活かし、生産動物の講義・実習科目を多く確保している。動物看護師教育では、社会で即戦力となる人材の育成を達成させるため、適正に編成している。具体的には、生産動物臨床学概論や総合臨床看護学実習などを取り入れ、現場における実践的な内容の推進を図っている。
北里大	1	カリキュラムマップに基づき、適切に授業科目、単位、配当年次など適切に編成されている。
日獣大	1	獣医学科は、現行カリキュラムではH24コアカリに準拠した科目が設けられており、そのうち臨床系講義・実習は3年後期（一部前期）から5年前期までに集中して組み込まれている。5年後期・6年前期は前述の通り動物医療センターでの参加型ラウンド実習（獣医総合実習（臨床））となる。獣医保健看護学科は、臨床系授業科目は基礎からの橋渡しとなる科目を経て臨床業務に直接関わる科目、動物医療センターでの臨床実習に繋いでいる。単位数は、認定動物看護師コアカリキュラムおよび日本動物保健看護系大学協会で定める基準に合致している。
麻布大	1	①で記したように、2年次から5年次にかけて臨床に関する総論、各論実習を実施している。さらに6年生では産業動物アドバンス実習、小動物臨床実習で、より実践的な臨床実習を実施している。
日大	1	現在カリキュラムは、モデル・コア・カリキュラムを準拠して構築されている。

表3-1-③教育課程の編成方針に則した授業科目・授業内容になっていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	獣医学教育では、基礎知識の習得→基礎技術の習得→獣医学共用試験→参加型臨床実習という流れで「実学教育」を実践できる内容を編成している。動物看護師教育では、社会で即戦力となる人材の育成を達成させるため、適正に編成している。
北里大	1	適切な内容になっている。

日獣大	1	獣医学科は、おおむね則しており、授業内容は各科目の担当教員に一任されているものの、授業内容はコアカリにある一般目標および到達目標を包括すること、および授業内容についてはシラバスにて明示するように定めている。獣医保健看護学科は、診療補助や動物愛護を主軸とした伴侶動物についての教育が高い割合を占め、講義・実習はこれらについて適切なバランスで配置されている。
麻布大	1	モデル・コア・カリキュラムの各項目に担当者を決定し、確実に実施していることを確かめている。またシラバスに具体的な実習内容を明記することで、学生には通知している。
日大	1	即している。

表3-1-④倫理面からの教育はなされていますか

大学	有無	コメント
酪農大	有	獣医学教育・動物看護師教育ともに現行カリキュラムにおいて、2年次に動物倫理・動物福祉学を開講している。
北里大	有	4年次開講の獣医倫理・動物福祉学で教育がなされている。それ以外にも、3年次開講の実験動物学でも教育がなされている。
日獣大	有	獣医学科は、現行のカリキュラムでは1年次に獣医学概論、4年次に獣医福祉学、5年次に獣医倫理学、6年次に獣医事法規が「導入教育(必須科目)」として実施されている。R2年度からの新しいカリキュラムでは、これらを「社会獣医学」と位置づけ、1年次に獣医学概論と獣医倫理学、2年次に動物福祉学、4年次に獣医事法規と早期開講に改正されている。獣医保健看護学科は、獣医保健看護学概論や動物倫理・福祉などの科目で生命倫理や職業倫理などについて学ぶ時間を設けている。
麻布大	有	2年次前期「獣医療倫理・動物福祉」などの講義で教育を実施している。また実習で牛や豚の模型や人工皮膚を積極的に用いることで、動物への負担軽減を行っている。
日大	有	この分野における社会的な要請を十分に加味し、倫理に関する教育は1年次開講の「獣医倫理・動物福祉学」などで講義している。動物を使用する実習では、受講する学生を対象とした動物の適切な取り扱いに関する教育を動物を使用する実習項目を実施する前に講義することになっている。内容としては、動物の使用に当たっての心構え、および実際の動物の取り扱い方法を講義する。具体的には、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」および「動物の愛護および管理に関する法律」に従ったもので、3Rの考えに即した実習を行うことを学生に十分に理解させている。

表3-1-⑤臨床教育において、実践・実務能力を育成する教育を実践していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	<p>獣医学教育では、5年次前期の斉一の参加型臨床実習（クリニカルローテーション）を行なったのちに、5年次後期に同じく斉一の動物病院専修コースを設定しており、希望する診療科に参加し、知識・技術などを習得できるようにしている。生産動物分野では「オホーツク臨床実習」を希望者を対象に設定しており、実際のNOSAI（農業共済組合）での臨床を実学として習得できるようにしている。動物看護師教育では、総合臨床実習A（近隣の動物病院での実習）、総合臨床実習B（本学附属動物医療センターを中心とした実習）を設定している。</p>
北里大	1	<p>授業科目と連動して各実習科目とも180分13～15回で1単位としており実習時間を十分に取っている。また、5年次後期、6年次前期で参加型臨床実習（小動物、大動物）を行っている。また6年次前期の参加型臨床実習では、アドバンス教育とし学外の協力病医院・協力診療施設（産業動物）においても実習ができるように準備されている。</p>
日獣大	2	<p>獣医学科は、現行のカリキュラムでは1年次の獣医学概論の一部で、R2年度からの新しいカリキュラムでは獣医学概論の一部と選択科目として臨床獣医学概論を設け、獣医臨床の位置づけ、実務について早期教育を行っているが、実際の臨床科目は3年後期から5年前期に集中して行われている。それらの実習科目の経験とOSCE合格の上で、5年後期～6年前期の獣医総合実習（臨床）＝参加型ラウンド実習に移行する。参加型実習では各チューターあるいは各診療科の判断の下、設けられた水準以内で診療参加させているものの、その判断はチューター、診療科、学生により大きくバラついており、一貫した教育ができていないかは疑問である。加えて昨今の動物愛護団体からの訴えにより、各臨床科目の実習においても生体を利用した体験実習が行えておらず、臨床系研究室所属の学生はまだしも、基礎系・応用系研究室所属の学生にも十分な臨床教育ができていないと言いがたい。獣医保健看護学科では、シミュレーション教材と生体を組み合わせた実習形態とし、動物医療センターでは実際の診療の流れの中で適切に動けるようトレーニングを実施している。</p>
麻布大	1	<p>臨床の実践・実務能力を伸ばす実習教育は、附属動物病院で実施している。産業動物の臨床教育は、近隣の大動物農家と連携して、大学の教育施設（LAVEC）を活用して実施している。また2年次には「牧場実習」、5年次では「専門学外実習」において、獣医師の仕事の現場に出向くことで実践的能力を育成している。</p>

日大	1	文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」および「動物の愛護および管理に関する法律」における、3Rの考えに即した実習の推進により、外科実習や内科実習等において、以前ほどは生体が使用されなくなっている。そのことから、従来からの実習科目だけでは、実践・実務能力を育成する教育が手薄になっている。これを補い、また、新たな形で実践・実務能力を育成する教育実現のため、動物病院で実施される総合参加型臨床実習の整備、充実化を急いでいる。
----	---	--

表3-1-⑥臨床系所属教室（研究室）への研究教育経費などは適切に分配されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	獣医学教育の参加型臨床実習（クリニカルローテーション）の予算は別途計上している。
北里大	1	全ての研究室で均等に一定額の基礎配分が行われており、さらに教員数、担当実習科目数、所属学生・大学院生数に応じて適切に研究費が配分されている。適切に研究費が配分されているかは、教育委員会、運営委員会、教授会で協議・確認されている。
日獣大	2	獣医学科は、学科の予算委員会により例年各研究室の職位および教員数、担当実習単位数、所属学生数を根拠として学科予算から配分案が出され、教授会にて承認される。獣医総合実習、産業動物実習・牧場実習、各基礎系実習科目および各臨床系実習科目での共通資材（顕微鏡や実習用動物）、野生動物実習委託などは研究室予算とは別に学科の共通経費として組まれている。獣医保健看護学科は、全学および獣医保健看護学科の予算委員会において、予算は実習単位数や教員数に基づき適切に分配されている。
麻布大	1	教員一人ずつに研究費を配分している。また教育にかかる費用は、単位数をもとに配分し、必要に応じて機器を購入している。
日大	1	研究室への研究教育経費は、所属学生数および担当実習数に基づいて、適切に配分されている。

3-2 教育方法

表3-2-①教育方針・目的は授業内容・教育方法などに充分反映されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	教員、スタッフは学生教育において第一線の臨床に関わる獣医療に意識的に取り組んでいるため、教育方針に十分に反映されている。特に本学附属医療センターにおける実習のうち、5年次前期の参加型臨床実習（クリニカルローテーション）は定員120名の規模ではあるものの、1教員に学生4～5名を基本に担当し、実践的な考え方を診療・カンファレンスにより学ばせている。また、SD取得学生を対象としているため、飼主様の同意のもと、問診、一般身体検査、手術助手（皮膚縫合も担当）、麻酔助手、画像診断補助など、ガイドラインに則った技術の習得を目標に努めている。特に生産動物では畜主の了解の下、症例にできるだけ直接触れる機会を作っている。看護師養成教育では、目的を達成させるため、附属動物医療センターやフィールド教育研究センターと連携して教育の充実を図っている。
北里大	1	十分に反映されている
日獣大	2	獣医学科は、おおむね反映されたものになっていると考えられるが、方針にある「能動的学修」としてのディスカッションやプレゼン、学生の主体的な授業参加について、取り入れている授業と取り入れられていない授業とがある。ICTを利用した学びの充実に関しては、皮肉なことに今回のコロナ禍により進展した。 獣医保健看護学科は、ディプロマ・ポリシーに即し適切に構築されている。
麻布大	1	モデル・コア・カリキュラムの各項目は、教育を担当する科目を明確にしている。授業内容はシラバスにて公開し、授業後にはアンケートにて評価を実施している。問題があれば改善するようにしている。
日大	1	教育方針および目的に応じて、シラバスが作成され、シラバスに則って授業、実習および演習が実施されている。

表3-2-②方針に則した授業内容・授業科目は適切に設定されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	現行カリキュラムでは総合臨床教育を行なっている。臨床基礎教育を終え臨床に関わる基本的スキルを学んだ後、生産動物ならびに伴侶動物の臨床例を中心とした臨床実習を実施し、病態観察だけでなく、生産動物においては処置に直接関わる機会も用意し、できるだけ実践に近い臨床教育が展開される。伴侶動物では、内科学実習・外科学実習をそれぞれ獣医学共用試験前に終了させ、4年次の2月頃をめどに獣医学共用試験を実施し、5年次前期には斉一の参加型臨床実習（クリニカルローテーション）を、さらに5年次後期に病院実習専修コースを設定し、より深い探求ができるよう配置している。

北里大	1	適切に設定されている
日獣大	2	<p>獣医学科は、内容に関しては上述 (①) の通り。科目についてはコアカリ科目を包括する授業科目が組まれている。R 2年度からの新カリキュラムではコアカリの改訂に対応できるよう幅をもたせた科目名 (獣医内科学各論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、…、獣医外科学各論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、…など) としている。またコアカリキュラムにない科目・実習も必須 (寄生虫病学、救急医療学、臨床病理学実習、疫学実習) あるいは選択 (野生動物実習、魚病学実習、鳥・特殊動物臨床) に盛り込まれている。</p> <p>獣医保健看護学科は、ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラム・ポリシーに沿うものとして適切に構成されている。</p>
麻布大	1	共用試験や獣医師国家試験に十分対応できるように設定している。
日大	1	現行のカリキュラムは、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠したものである。

表3-2-③シラバスが作成され適切に活用されていますか？

大学	有無	評価	コメント
酪農大	有	2	シラバスは毎年更新され、各授業で運用されている。シラバスには習得すべき具体的事柄と到達目標を具体的に明記している。
北里大	有	1	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記し、ホームページに公開している。学生は、それをチェックして予習などに役立てている。また、シラバスは教育委員会で第三者が内容などをチェックしている。
日獣大	有	2	<p>獣医学科は、シラバスは毎年更新されている。現在コアカリ科目については科目番号や内容番号を付記することになっている。授業タイトルと授業内容の記載事項は各教員に一任されており、多くが簡素化されている。</p> <p>獣医保健看護学科は、全ての科目についてシラバスが作成され、適切に活用している。</p>
麻布大	有	1	シラバスはホームページで公開し、学生に自分の受講する科目の目的や内容についてあらかじめ十分把握しておくように指導している。
日大	有	1	すべての科目担当者は、シラバスを作成し、その内容に即した授業、実習および演習が実施されている。

表 3-2-④モデル・コア・カリキュラムに示された内容を教授していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	シラバス作成の際には、コアカリの内容が概ね満たされるよう、到達目標にもコアカリの内容(特に習得すべき内容と目標)と対比できるよう明記している。
北里大	1	モデル・コア・カリキュラムに示された内容は全て教育している。
日獣大	1	獣医学科は、授業内容は担当教員に一任されているが、コアカリ内容は準拠して行うよう通達されているため問題はないと思われる。獣医保健看護学科は、動物看護師統一認定機構が定める認定動物看護師コアカリキュラムおよび日本動物保健看護系大学協会が定める実施基準に基づき教育を実施している。
麻布大	1	モデル・コア・カリキュラム各項目を担当する科目を明記した表を作成している。また、各科目に担当者を置き、適切に実施しているかを確認している。
日大	1	現行のカリキュラムは、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠したものである。

表 3-2-⑤授業方法に工夫はありますか?(例:医療面接、ケーススタディ、ディベート、フィールドワークなど)

大学	有無	コメント
酪農大	有	生産動物では、来院・入院動物・往診動物を対象とする授業を行なっている。伴侶動物では、4年次に医療面接を行い、獣医学共用試験および参加型臨床実習に備えている。5年次の参加型臨床実習および総合臨床実習では、カンファレンスおよび症例検討会への参加を義務付けており、質疑応答ができるよう教育している。
北里大	有	医療面接実習では近隣のボランティア 20名の協力を得て実施している。
日獣大	有	獣医学科は、授業方法はここの教員に一任されており、授業ではパワーポイントを用いた講義形式が一般的である。一部の教員・科目でクリッカーを用いた授業、グループラーニングなどが行われている。医療面接は獣医総合実習(臨床)の一部で模擬クライアントを用いた実習が行われている。獣医総合臨床実習の内、参加型ラウンド実習(5年後期～6年前期)では各チューターあるいは診療科によるケーススタディが行われている。獣医保健看護学科は、動物医療センターでの実習終了後に症例発表会を課し、質疑応答の時間も設けている。
麻布大	有	獣医学科 5年次の「小動物獣医総合臨床」や「産業動物獣医総合臨床」では、病院症例を題材にしたスライドレクチャーやVRを活用した手術動画等を駆使して視聴覚教育の充実を各教員が図っている。5年次後期や6年次前期に附属病院や学外で行われる臨床実習では、症例検討会や発表会への学生が参加している。

日大	有	総合参加型臨床実習に向けて、事前に行われる各種実習内で医療面接、ケーススタディなどを取り込んでいる。また、生体を可能な限り使用しないために、動物代替モデルを活用する努力を行っている。また、毎年、海外非常勤講師を委嘱し、先進諸国の知見を教育に反映させている。
----	---	--

表3-2-⑥動物病院を活用した教育研究指導の配慮はなされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	生産動物では、学生に眼前の疾患動物診療に同行させ、得られた各種データを蓄積、取り纏め、学内での発表する機会を作るとともに、動物の疾病に関わる様々な研究に取り組み学会・研究会等で発表させている。伴侶動物では、授業内容、授業方法において上記①、②、⑤の通り十分に配慮している。
北里大	2	臨床系教員18名に加えて特任助教2名を配置している。本年度中に専任および特任を含めて2名増員する(9月着任済み)。
日獣大	2	獣医学科は、「総合臨床実習」としてコミュニケーション実習および5年後期(ベーシック)、6年前期(アドバンス)の参加型臨床実習を行っている。ただし個人の能力差や二次・三次診療であるという性質から、一次診療レベルの経験ができてきているかの点について疑問が残る。今後、他の臨床実習での動物の使用が制限されるにつれ、ますます参加型実習に依存するようになることが予想されるが、現状のままでは十分な教育効果が得られるのかどうか不明である。獣医保健看護学科の臨床教育では、チーム獣医療のためのコミュニケーション能力と協調性を身につけるため、動物病院を適切に活用している。
麻布大	1	附属動物病院は、診療のみならず、症例検討会や院内セミナーを実施している。
日大	1	5年次後期に動物病院において、総合参加型臨床実習を実施している。

表3-2-⑦動物病院を活用した実践的教育の実施方法は適切に整備されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	4	生産動物・伴侶動物ともに学生数から判断すると附属動物医療センター収容能力、教育担当責任者、指導獣医師は少ないと思われるが、新カリキュラムの実施に向けて、今後、教員を増員する予定である。
北里大	1	実施方法などは臨床系教員全員で検討しており、毎年内容のチェックなどを実施している。
日獣大	2	獣医学科は、整備はされているものの、上述の通り個人的な能力差によって学生個人個人で実施できる内容に差が認められる。 獣医保健看護学科は、医療検査手技や診療補助技術、動物看護技能を身につけるため適切な実践的教育を行っている。

麻布大	2	大動物教育では、大動物教育センター(LAVEC)や新しく厩舎、豚舎を整備した。小動物臨床については、老朽化した病院の改築、増築が急務である。
日大	1	5年次後期に動物病院において、総合参加型臨床実習を整備し、実施している。

表3-2-⑧参加型臨床実習は適切に実施されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	齊一科目として病院実習（生産・伴侶）並びに往診随行実習（生産）を実施しており、新カリキュラムでは現状以上の拡充を図る計画である。現状では教育人員に余裕はなく、特に臨床実習と参加型臨床実習が重複する場合には運営が困難な場合がある。
北里大	1	1班3名程度の小グループでローテーション実習を実施している。また、アドバンスとして学内では経験しにくい症例を経験するために協力病院・施設（小動物約60病院、産業動物約20施設）での実習を行う。
日獣大	2	獣医学科は、上述⑥の通り。ただし十分な実施には、敷地的・人力的に不足していると感じている。 獣医保健看護学科は、3年次後期と4年次前期に動物医療センターでの実習を実施しており、時期・内容・分量とも適切と考える。
麻布大	1	5年次後期の「小動物臨床実習」と「産業動物臨床実習」で、それぞれ獣医臨床センター、産業動物臨床教育センター(LAVEC)を拠点として適切に実施している。
日大	1	適切に実施されているが、1学年120名以上の学生に対して、充実した実習を効率よく実施するためには、実習の実施方法および内容について、継続的に創意工夫を行う必要がある。

3-3 結果に対する評価

表3-3-①教育学習結果に対しての評価システムはありますか？ある場合、適切に機能していますか？

大学	有無	評価	コメント
酪農大	有	1	学生による授業評価システムが機能し、酪農学園大学FD委員会が各学期2回アンケート回収と取り纏めを行っている。
北里大	有	1	アセスメントポリシーに基づき教育学習結果を評価するシステムがあり、適切に機能している。

日獣大	有	1	本学では全ての授業に対して学生アンケートの実施を行っている。これまでは全教科で共通の定型化したものであったが、今年度より授業ごと(担当教員ごと)に任意で質問事項を追加できるようになった。アンケートの結果は事務部で集計され、担当教員にフィードバックされる。ただし回収率・有効回答率はそれほど高くないように思われる。なお、獣医保健看護学科では、動物医療センターでの実習成果のプレゼンテーションを全員に課し、理解度を評価するとともにふり返り学習を可能としている。
麻布大	有	1	授業評価については、学生のアンケートを実施している。優秀な教員には、ベストティーチング賞を授与している。また受賞した教員によるFD講演会で、授業の工夫について紹介している。
日大	有	1	学生に対する教育学習結果は、定期試験等の試験により実施されている。また、学生からの授業評価については、授業ごとにアンケート調査を実施している。授業のオンライン化にともない、学生に対するアンケート調査は、紙媒体からGoogle Form等を使用した電子媒体に急速に変化した。それに伴って、各学科目で教育内容に即したきめ細かいアンケート調査が可能となっている。

3-4 臨床教育における独自の工夫

大学	独自の工夫について
酪農大	生産動物教育では、5年次前期の斉一の参加型臨床実習(クリニカルローテーション)において、近郊牧場への往診遂行を実施している。生産分野所属の学生に対しては往診随行の他に担当教員とともに入院患畜の処置を通じてアドバンス診療教育を行なっている。その他、繁殖管理、蹄病管理ならびに疾病予防のための検診を通じて飼育管理に関しても学ぶ機会を作っている。また、実習棟に収容されている実習牛・提供牛は随時各種検査が自習できるように開放している。伴侶動物教育では、5年次前期の斉一の参加型臨床実習(クリニカルローテーション)において、担当教員の専門性により、[内科]、[眼科]、[整形外科・神経科・循環器科]、[腫瘍科]、[麻酔科]、[画像診断科]に1週間ずつ参加することで幅広く経験をできるようにしている。次いで、5年次後期に配置されている病院実習専修コース(斉一選択)で興味を持った診療科においてさらに深く実習をできるようにしている。伴侶動物分野所属の学生については斉一教育の他に所属するユニットの診療科に参加し、独自の専門性の高い医療を経験できるようにしている。動物看護師教育では、看護学類に生産動物の専任教員を配置し、家畜人工授精師、牛削蹄師、家畜商等の資格取得に向けた取り組みの推進を図っている。
北里大	参加型臨床実習において、学外でアドバンス教育ができるように協力病院・施設との教育連携を図っている。教育担当者には、非常勤講師の称号を付与している。

日獣大	<p>獣医学科は、5年前期までに各臨床科目の実習を完了し、CBT/OSCEを経て、5年後期からの参加型臨床実習に入っている。5年前期では小動物に関して動物医療センターでのベーシック実習(内科系外来・外科系外来・画像診断・手術)をローテーション、大動物は共済実習(学外)を必須としている。6年次にはアドバンス実習として、小動物の専門診療科、大動物の共済実習(学外・個人)の選択必修としている。一方で、学内でも大動物の幾らかの実習ができるように、産業動物臨床学研究室を設置し、第2校舎での牛の一時繋留が可能となるよう整備を進めている。獣医保健看護学科は、獣医学科の学生と実習を共同で行う事により、卒業後の実務を見据えたより実践的な教育を可能としている。</p>
麻布大	<p>獣医学科5年次の「小動物獣医総合臨床」や「産業動物獣医総合臨床」では、病院症例を題材にしたスライドレクチャーやVRを活用した手術動画等を駆使して視聴覚教育の充実を各教員が図っている。また、牛、馬、豚の等身大模型や皮膚模型を用いた実習を初めに実施することで、実習動物への負担の軽減を行っている。6年次前期の小動物病院実習では、附属動物病院のみでなく、連携病院における高度獣医療の教育が受けられるようにしている。</p>
日大	<p>夏休み期間中、ワシントン州立大学獣医学部において、2週間の海外研修制度を設けている。産業動物臨床については、本学の立地が都市近郊地域ではあるが、教育に協力していただける地域酪農家を開拓することにより、往診診療を通じた実地教育体制を実現している。新型コロナウイルス感染症対策として、いわゆる3密を避けるため、令和2年度の総合参加型臨床実習では、動物病院内に一度に入る学生数を制限した。そして、実習人数を消化するために実習期間を年度末の3月までに延長して行っている。</p>

3-5 教育課程・教育方法に対する自己点検・評価

大学	評価	コメント
酪農大	2	<p>本学の建学の精神、獣医学教育ならびに動物看護師教育の教育理念を達成するため、学生が臨床現場・社会が求める獣医医療を学べるよう最善のカリキュラムとシラバスの作成を行なっている。</p>
北里大	1	<p>獣医学(学士)の学位にふさわしいディプロマ・ポリシーを定めている。ディプロマ・ポリシーは、教職員・学生・受験生を含む社会一般に周知・公表している。カリキュラム・ポリシーやカリキュラム・マップに、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を定めている。カリキュラム・マップに明示した教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程を体系的に編成している。モデル・コア・カリキュラムに指定された講義・実習科目を全て網羅している。動物病院を活用して斉一教育や卒業論文研究に利用されている。そして、モデル・コア・カリキュラムに従った総合参加型臨床実習を実施している。</p>

日獣大	2	<p>獣医学科は、現在はH24年度版のコアカリに準拠した授業・実習カリキュラムになっており、おおむね適切に行われているものとする。一方で、コアカリの改正に伴い、次年度よりまた新たなカリキュラムが始まることになる。現行でもコアカリにある科目でありながら、適任の担当教員が獣医学科内にいない科目もあり、他学科教員あるいは外部講師を依頼しているため、これが学内・学科内で可能なような人事採用が必要と考えられ、またますます病院実習の担うウエイトが大きくなるため、病院スタッフ・敷地面積の拡充および一次診療的な実習形態の模索を必要とする。同時に第三者評価、国際認証に向けた準備が必要である。獣医保健看護学科の教育方法は、動物看護師統一認定機構および日本動物保健看護系大学協会の基準に照らし概ね十分な教育を実施している。</p>
麻布大	1	<p>学生によるアンケート結果を共有することで、課題について共通認識を持ち、改善している。</p>
日大	2	<p>社会に貢献する獣医師を輩出するためには、総合参加型臨床実習の一層の充実が課題である。たとえば、設備面における改善点として、教員やスタッフが行う問診、診断、治療等の手技をたとえ別室であっても多くの学生が見ることを可能にする仕組みが必要である。そのためには、双方向のカメラ・モニターシステム等を主要診察室、処置室、手術室等に完備しなくてはならないだろう。また、衛生面においては、総合参加型臨床実習の実施により、院内に多くの学生が立ち入るようになるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を怠らないように努める必要がある。</p>

4. 学生

4-1 教室（研究室）への学生の受け入れ

各大学とも臨床教育に相応しい環境確保がなされ、研究室の学生の受け入れ人数は「おおむね適切である」と評価している。各研究室は、研究内容などのプロフィールや受け入れ予定人数を公開し、学生はこれらを理解した上で入室している。一方で入室希望者が多い研究室では、教員、学生間で適正な調整が行われている（表 4-1 ①）。

教員や所属学生との対話や、研究室が作成したパンフレットなどの情報をもとに入室する研究室を決定している学生が多いが、基礎系研究室から臨床系研究室への転向、あるいはその逆の転向はわずかではあるが事例がある。北里大学ではこのような転向はないが、卒業論文研究で他研究室に活動の軸を移すことがある。各大学とも、学生の意思・事情を考慮している（表 4-1 ②）。

4-2 学習支援体制について

オンデマンド方式の動画視聴システムを利用した学習支援体制の構築や、英語や数学、物理、化学、生物など基礎科目のサポートを目的としたチューターによる個別指導を実施している。また専門科目では、スキルラボやハンズオン教育など、学生が自分のペースで勉強を進められる機会を提供している。このような理由から、各大学とも、「適切な部分が多い」あるいは「おおむね適切である」という評価であった（表 4-2 ①）。

各大学とも、ホームページでの公表や卒業論文発表会、基礎系・臨床系の横断的な研究を通じて、基礎系研究室の学生が臨床系研究室の研究内容に触れる機会を設けている（表 4-2 ②）。

学生の健康診断や心的支援、生活相談については、学生支援課や教務課などにおいて事務体制を整えており、医務室や学生相談室、メンタルヘルス相談室を設置している。北里大学では、専門カウンセラーや医師、保健師が連携して学生の心身のケアに取り組んでいる。すべての大学で健康診断が実施されており、担任制を活用して、教員の立場から学生に接しながら、きめ細かに健康面をサポートしている。（表 4-2 ③）

就職や進学に関しては、各大学とも「適切な部分が多い」あるいは「おおむね適切である」と評価している。学生支援課、就職指導課などの事務組織が中心となり、キャリア形成プログラムを実施したり、学内合同就職説明会を開催したりして、学生の将来をサポートしている。また一部の大学では、就職相談室に専門の相談員を配置し、学生の適職に関する相談や、志望理由書の書き方、面接対策、就職活動方針の指導を個別方式で実施している。（表 4-2 ④）

4-3 学生受け入れに対する自己点検・評価

各大学とも「おおむね適切である」あるいは「適切な部分が多い」と回答している。学生は自ら入室する研究室を選択するため、志望人数超過などで偏りが出てしまう場合がある。選考に漏れてしまった学生に対しては、担任がアドバイスし、他研究室へ入室する大学が多い。また入室後に体力的、精神的な問題により配属の転向する学生を極力防ぐため、各研究室が作成した研究室紹介パンフレットや、教員や所属学生からの情報、ゼミへの参加などを通じ、研究室の内容を十分得た上で志望する研究室を決定するように指導している。

学生個々の意見をくみ上げ、それらを大学の職員、教員が知り理解できるシステムを各大学とも有している。授業の良い点や改善すべき点を学生の立場から評価する授業評価アンケートが実施されている。また学年担任や学生相談室を通じて学生の意見を収集し、情報共有して対処している（表 4-3 ⑤）

4-1 教室（研究室）への学生の受け入れ

表4-1-①臨床教育に相応しい環境の確保のため、学生数は適切に確保されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	現在、学生の動物医療分野（生産・伴侶共に）の所属の希望が減少する傾向にはあるが、一定数の所属学生が確保されている。なお、研究室の決定は学生本人の第一希望を可能な限り満たされるよう、所属枠にできる限り弾力性を持たせている。動物看護師教育では、すべての学生が臨床を希望するわけではないが、その中で伴侶動物分野に加えて生産動物分野の研究室を設けて受け入れ体制を整えている。
北里大	1	入学者数は、定員の 1.09 倍以下に厳密に管理している。
日獣大	1	獣医学科は、コロナ禍の今年度は例外として、例年、3年に進級する直前の春休みに学生は自由に研究室を見学し、納得できるまで説明を受け、所属する研究室を決めている。入室は4～5月の大型連休の前後であることが多い。臨床系の研究室は、それ以外の研究室よりも多くの学生を受け入れる傾向が強く、学生数は概ね適切に確保されていると考えられる。獣医保健看護学科では、3年次より当学科の研究部門・分野（以下研究室）及び受け入れ可能な獣医学科の研究室に入室可能である。研究室への入室は、学生の希望と研究室の受け入れ人数を担任が調整し配属先を決定している。獣医保健看護学臨床部門は、他部門に比べ構成教員数も多く、また相応の学生が配属されている。
麻布大	1	学生の研究室受け入れは学生の希望と、受け入れ人数については各研究室の自主性に任せている。研究室によっては、希望者数と受け入れ可能人数が合致せず、学生が必ずしも第一希望の研究室に入室できるわけではない。
日大	1	学生の研究室受け入れは、研究室が受け入れ人数と求める学生の資質を公開し、具体的な入室は学生の自主性に任せている。本学では、モデル・コア・カリキュラムに対応した研究室創設により臨床系研究室数は概ね増えている。ただし、研究室によっては物理的スペースの関係上、希望者数と受け入れ可能人数が合致せず、第一希望の研究室に入室出来ないことも多々ある。その結果、臨床希望の学生数の確保は適正にされつつも、各研究室への分配については均整がとれないことがある。

表4-1-②基礎系教室（研究室）の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	2019年度までの学生の所属決定は、成績評価に基づき成績上位のものから優先して所属が決定するシステムを適用してきた。これにより成績下位ものは希望と異なる（時には大きく異なる）教室への所属が課せられる事例が発生し、精神的・体力的負担が大きいことから、医師の診断書が提出された際には所属の転属を検討してきた。また近年、基礎・応用系分野への志向が高く、希望にそぐわず臨床系分野への所属が決定することが散見され、そのため臨床系分野から基礎・応用系分野への転属が上記の経過を経て決定した例は年に1～2件存在する。この事象に対して改善を図るため、2020年度は上記①の通り体制を変更している。動物看護師教育においては、将来臨床現場を希望する学生が全体の35～45%であるため、研究室を転向する学生は少ない。

北里大	無	所属の変更はない。しかし、卒業論文研究などで他の研究室での活動が主になる場合はある。
日獣大	有	獣医学科は、研究室の転向(移動)は完全に学生の意思を尊重して認めている。獣医保健看護学科は、基礎系から臨床系の教室への転向またはその逆の転向はほとんど無い。ただし、卒業論文は現行カリキュラムでは選択必須(新カリキュラムでは必須)のため、配属後に卒業論文を履修しない学生が若干名存在する。
麻布大	有	全ての研究室が研究室紹介のパンフレットを作成し、入室前の学生に公開している。学生はこれを見て、さらに研究室の教員や学生と話した上で、志望して入室している。このため、研究室間の移動は年間数人以内の範囲である。現在までに基礎系教室(研究室)の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向事例はあった。
日大	有	学生は、原則4~6年次の3年間、同じ研究室に所属する。しかし、少数ではあるが、学生の所属研究室の転向はある。その際は、学生の意志を尊重し、当該研究室での責任者間の了承のもと実施される。

4-2 学習支援体制について

表4-2-①学生への学習支援体制が整備され、適切に運営されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	インターネット環境や図書館をはじめ、学内授業支援システムが充実している。新カリキュラムでは、欧州獣医学教育機関協会(EAEVE)の示す教育体系を参考にした動物モデルを使ったスキルラボ実習の実施を予定しており、基本的な獣医療技術習得のため施設・機器整備を進めている。特に本学の特色を活かした生産動物ならびに馬の実地教育の環境は充実している。またe-ラーニング教育とハンズオン教育を合わせて理解度を高め、技術習得のための反復トレーニングを可能としている。
北里大	1	本年度1年生から全員にiPadを支給している。また、自習室の整備を行っている。高校までの学習内容を基礎として、大学での学習が円滑にできるよう個別に指導・援助する組織として、「一般教育部学習サポートセンター」を設置している。同センターでは、英語・数学・物理・化学・生物の5科目を高校で教鞭を執っていた元教員がチューターとして(各科目に2~3名を配置・輪番制)マンツーマン方式で指導し、高校で十分に学習できなかった科目を大学の講義と関連付けて支援している。
日獣大	1	学内LANを用いた学習支援システムが整備され、学生はこのシステムに自由にアクセスし、予習・復習できる環境が整っている。
麻布大	1	大学としては、リメディアル教育として個別に指導する場を設けている。すべての教員がオフィスアワーを設定して、学生の質問に対応している。

日大	1	学生からの質問を受ける機会を確保するため、各教員は学生向けのオフィスアワーを設けている。その曜日、時間、場所はシラバスに記載されている。新型コロナウイルス感染症対策をきっかけに開始された教育システムではあるが、すべての授業はオンデマンド方式によるビデオとして収録され、学生は大学から割り当てられたメールアドレスで Google Classroom にログインすることにより、好きな時間帯にビデオを繰り返し視聴出来るようになっている。
----	---	--

表4-2-②基礎系研究生の学生が臨床系研究室の研究内容に触れる機会がありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	学群ホームページ、教育群ホームページで随時、新たな研究内容を知ることが出来る。また、学会や卒業論文発表等の場で聴取することも可能である。さらに臨床系と基礎系に横断した研究がなされることがある（附属動物医療センターで発生した検体を利用した基礎的・応用的研究など）。
北里大	有	卒業論文発表会は、教員および該当学年全員の参加が義務づけられている。発表会を通して全員が臨床系研究室のみならず全ての研究室の研究内容に触れる機会がある。
日獣大	有	獣医学科は、動物医療センターで検査のために採取した各種サンプルを必要に応じて、獣医病理学教室、獣医微生物学教室に提出し、共同研究や卒業論文に活用している。卒業論文に関しては、これを公開し所属研究室にかかわらず自由に閲覧できるよう配慮している。 獣医保健看護学科は、臨床部門、応用部門、基礎部門の大きく3つの部門があり、卒業論文で相互に連携するケースがある。また、各部門の卒業論文発表会は、学内に公開しているため、基礎系研究室の学生（入室予定者も含め）は毎年臨床部門の研究内容に触れる機会がある。
麻布大	有	臨床での課題に対して共通認識のもと、共同研究を実施することがある。また一部ではあるが、基礎系教員と臨床系教員が共催で毎週ゼミを実施している。
日大	有	学生が卒業論文発表会などへ参加することは自由としていることから、他の研究室で行われている研究内容に触れることは十分に可能である。また、3年次学生は、この発表会での内容を参考にして、入室する研究室を選択している。さらに、学内で開催される日本大学獣医学会では、基礎系、応用系、臨床系研究室が学術発表に参加していることから、他系の研究内容を知る機会は十分に与えられている。

表4-2-③学生に対する健康診断、心的支援、生活相談等が行われていますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	本学の教育センターの学生支援課、教務課、医務室、学生相談室が学生支援を行なっている。また、教員は学生担当アドバイザー制により、学生が研究室に所属するまでの間、日常的に学生支援を行なっている。
北里大	有	相模原キャンパスに「北里大学健康管理センター」を設置している。 同センターのもと各キャンパスに「学生相談室」や「保健室」を配備し、専門のカウンセラーや医師、保健師を配置して、学生相談および健康相談や保健指導を行う等、連携して学生の心身のケアに取り組んでいる。また、健康診断は、年1回学生全員が受診している。 獣医学部内の保健室及び学生相談室では以下のとおり整備し相談対応等を行っている。 保健室：学内に保健師・看護師が常駐し、学内で発生した疾病、傷害に対する応急処置を行い健康に関する相談に応じている。内科と精神科校医による健康相談対応をそれぞれ月1回行っている。 学生相談室：公認臨床心理士資格を有するカウンセラー2名（常勤1名、非常勤1名）が、学生生活でぶつかる様々な問題を抱えた学生に解決の糸口を与えるべく活動している。 クラス主任制度：1年次から担当教員がクラス主任となって適宜学生生活のサポートを行っている。各研究室に配属後（4年後期）は所属研究室で相談に応じて、きめ細かい支援を行っている。 懇話会：2・3・4年次生を対象に各クラスで班を編成し、それぞれの班を学科教員全員が担当して年に2回程度会食するなどの懇話会活動を行っている。学生生活や進路の悩みなどの解決や、大学に対する要望の聞き取りなどを行っている。
日獣大	有	本年度はコロナ禍のため健康診断は現段階では実施していないが、9月に実施する予定である。心的支援については、校医、保健室などが迅速かつ適切に対応している。生活面に関しては、学生相談室が主に対応している。
麻布大	有	健康管理センター、学生相談室、メンタルヘルス相談室があり、学生の健康診断、心的支援、生活相談等が行われている。
日大	有	学校保健安全法に則った健康診断が行われている。教員は大学本部で主宰されているインターカー講習を受講することになっている。また、学部内には学生相談室が設置されている。獣医学科各学年には、2名の教員が担任を務めている。各担任は学生への心的支援や生活相談等にきめ細やかに対応している。

表4-2-④学生に対する就職・進学相談、助言体制が整備され、適切に運営されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	<p>本学のキャリアセンター（就職課）は、学生に適宜、求人案内を行ない、就職相談に応じている。また、教員は担当学生に進学相談に対応している。例年、地方自治体担当者による公務員就職説明会を開催している。小動物医療に関しては、希望する動物病院関係者による合同就職説明会を年に複数回、随時開催している。</p>
北里大	1	<p>本学における学生の進路支援は、「キャリア形成支援」「進学・就職支援」の側面から行っている。学生の就職支援活動を推進するために、相模原キャンパスに「就職センター」を設置し、「北里大学就職委員会」を組織して、大学全体として支援体制を構築している。</p> <p>また、獣医学部には、学部の教員で組織される「就職委員会を配置しており、学部の専門性に即した支援を行っている。各学部の「就職委員会」へは、「北里大学就職委員会」の委員である就職センター事務長とキャリアカウンセラーの資格を有する同センターの職員が毎回陪席し、学部の情報を「就職センター」に集約できる体制をとっている。また、就職センターでは、学生に対する就職指導・支援を円滑に行うための必要な知識・技術を等しく習得するとともに、学部等間相互の連携を深めることを目的とした、各学部等就職支援担当者対象の「学部等就職担当者会議」を年に2回開催し、本学求人票の取り扱い方法や職業安定法の改正などについて確認を取り合うなど、センター職員と各学部等就職支援担当者の情報共有の場を設けている。</p> <p>十和田キャンパスでは、企業・機関・動物病院などからの申し出を受けて、その都度学内での就職個別説明会を開催し、地理的なデメリットを補う就職支援を行っている。</p>
日獣大	1	<p>就職については、事務部の学生支援課が主に対応している。年に数回、就職説明会を開催することで対応している。進学については、学生が所属する研究室の教員や大学院生が相談を受けることが多い。</p>
麻布大	1	<p>入学者オリエンテーションや低学年向け就職活動準備講座、就活スタートアップセミナーなどを開催し、キャリア・就職相談員が個別面談を実施している。進学に関しては、各教員が随時相談を受け、必要であれば適切な学部の関係者を紹介している。</p>
日大	1	<p>学生に対する就職相談は就職指導課が担当している。学部が主催する公務員、企業などの就職説明会も実施されている。進学相談については、教務課および教員が主に対応している。</p>

表4-2-⑤学生サービスに対する学生からの意見などをくみ上げるシステムはありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	獣医学群には、授業に関する学生からの意見をくみ上げるため、アンケート回収、意見箱設置システムがある。
北里大	有	各学年に対して学期終了時に授業評価アンケート実施しており、その結果はホームページに掲載している。 懇話会：2・3・4年次生を対象に各クラスで班を編成し、それぞれの班を学科教員全員が担当して年に2回程度会食するなどの懇話会活動を行っている。 学生生活や進路の悩みなどの解決や、大学に対する要望の聞き取りなどを行っている。 毎年、「高等教育開発センター」が全学的に実施している「北里大学における学修等に関するアンケート」調査結果を活用した教育改善等について全学教育委員会で検討している。
日獣大	有	学生の意見や希望は学年担任、学生部委員会、事務部（学生支援課）が連携をとりながら吸い上げて、必要があれば改善点を検討している。学科を問わず3年生以上の学生は研究室に所属しているため、所属研究室の教員が学生の意見や希望を聞く場合も少なくなく、これらの意見や希望は、必要に応じて上述の学年担任、学生部委員会、学生支援課で共有・対処している。
麻布大	有	授業アンケートや学生相談室で意見を汲み上げている。
日大	有	大学独自のシステムである総合ポータルシステム LiveCampus や Google Form によるアンケートシステムが整備されている。

4-3 学生受け入れに対する自己点検・評価

大学	評価	コメント
酪農大	2	これまでの学生は概ね満足しているようであるが、前述のように体力的・精神的にリタイア（転属）を余儀なくする学生が存在することも事実である。2020年度はこのような実情を改善するため、第一希望を可能な限り優先させる方式に変更し、教員側の受け入れ人数を弾力的に運用することで改善を試みている。さらに希望するゼミへの見学も必須とし、教員も良い面だけでなく、苦勞する面も説明するよう努めている。この効果はまだわからないが、学生がより満足することを期待している。
北里大	1	アドミッションポリシーに基づき適切な入学試験が実施されている。また、様々な入試制度を設定し多様な学生を受け入れている。さらに入学定員も全学の入学試験検証委員会で厳格に管理されている。
日獣大	1	所属する研究室を選ぶのは基本的には学生の意思に基づいている。最大受け入れ人数を超える人数の希望者が出た場合、担任がアドバイスしながら、別の研究室への入室をアドバイスしている。入室を希望する学生が多くても、研究室に広さや教員数などにより、学生の希望を叶えられないことがたまにあり、この点は今後の改善点だと思われる。
麻布大	1	全ての研究室が研究室紹介のパンフレットを作成し、入室前の学生に公開している。学生はこれを見て、さらに研究室の教員や学生と話した上で、志望して入室している。各研究室は受け入れ体制を整えているが、希望人数により、全員を受け入れることができない場合もある。
日大	1	学生の研究室選択の志望は常に偏りがあり、年によってその志望は変化し、また各研究室の物理的スペースも制限されている。したがって、学生の希望通りには研究室配属することが出来ないのは致し方ない。研究室には、従来からの教育研究活動の面だけでなく、学生に対する心的支援や生活相談等の場としての役割がある。特に人と人との繋がりがデジタル化した現代においては、学生が孤立しやすい。その点において、単に研究教育の環境確保のための入室だけでなく、学生の心的支援を重視した研究室構成のあり方や学生の臨床・研究活動を有益にするためのギャザリングスペースや院内休憩所などの確保も考慮されるべきであろう。

5. 教職員

5-1 教員

①「臨床教育組織に必要な人員は確保されているか?」の問に対して、酪農大が欧州獣医学教育機関協会 (EAEVE) の基準準拠のため増員を計画してはいるが、現状において、酪農大を含むすべての大学で「適切でない部分が多い / 機能していない部分が多い」という自己評価であった。この評価は、前回調査と比較しても改善が見られていない。また、5-2 項において、日獣大獣医保健看護学科は、愛玩動物看護師の国家試験化に伴って策定される新カリキュラムによっては、将来的にさらなる教員確保が必要となる可能性があることを指摘している。

②「臨床系構成(専任、兼任、臨時、年齢、専門分野)のバランスはとれていますか?」の問に対して、北里大はおおむね、そして日獣大獣医保健看護学科はバランスが取れていると回答している。一方、酪農大、日大において教員の年齢構成は逆ピラミッド型であると指摘し、前回の調査と比較して日大の自己評価が後退した。麻布大学では定年退職者の補充により、若手教員の構成バランスが改善したものの、教授が少ないと指摘している。日獣大においては、40 代教員が多いことに対して、30 代教員が不足していると指摘している。このように、全体的に若手教員が不足している傾向にあり、年齢バランスが取れた人員構成を確立するためには、若手教員の確保が課題であると考えられる。

③「臨床系構成で補充したい分野はありますか?」の問に対して、具体的な分野をあげたのは3校であり、北里大は内分泌代謝病学、馬臨床学、臨床行動学、口腔疾病学、エキゾチック、日獣大は軟部外科、動物行動科、日大は眼科、内分泌、腎泌尿器診療、行動治療、栄養学分野を補充したいと回答している。前回の調査と同じ分野を回答しているのは、日獣大が外科領域、日大が行動学(治療学)であった。

④「臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分は適切ですか?」の問に対して、前回調査では、「おおむね適切である / 充分機能している」と「適切な部分が多い / おおむね機能している」がそれぞれ1校、「適切でない部分が多い」が2校であった。今回の調査では、「適切な部分が多い / おおむね機能している」が1校、「適切でない部分が多い / 機能していない部分が多い」が4校となり、このように自己評価は明らかに後退している。これは、モデルコアカリキュラム導入による臨床系科目の増加、参加型臨床実習導入による教育および診療負担が増しているためと指摘された。

5-2 教員への支援体制

①「臨床系教員の採用・昇任への基準はありますか?」の問に対して、全ての大学ですでに基準が策定されていると回答している。今回の調査において、臨床系教員に対する独自の評価基準を設けた大学があることが判明し、麻布大では評価基準に診療業績を加味し、日大では研究業績として日本語論文も認めると回答している。

②「臨床系教員の研究教育活動を支援するために TA (Teaching Assistant) 等が適切に活用されていますか?」の問に対して、全ての大学で TA 制度があり、「おおむね適切である / 充分機能している」と自己評価した。しかし、大学院生が安定的に確保出来ないことがあり、2校において、一段階低い「適切な部分が多い / おおむね機能している」と評価した。

③「研究教育目的を達成するための研究教育費が適切に配分されていますか?」の問に対して、北里大、日大では、研究教育費は、教員数、実習科目数、研究室所属学生数、大学院生数に応じて配分されていることから、「おおむね適切である / 充分機能している」と自己評価した。それに対して、日獣大では実習内容による経費の違いや研究内容を加味した予算配分とはなっていないことから、前回と同様に「適切でない部分が多い / 機能していない部分が多い」と自己評価した。

④「研究教育目的を達成するための研究教育費が適切に配分されていますか?」の問に対して、前回調査ではFD等の取り組みは成されているものの、内容は大学が企画したものであり、臨床教育に特化したものではないことが判明した。今回の調査において、日大においては、動物病院主催によるFD講習会が開催されていると回答している。

⑤「臨床系教員の研究教育活動を活性化するための評価体制が整備され適切に運用されていますか?」の問に対して、北里大学では年次で実施される自己点検の評価基準項目が設置されていることから、「おおむね適切である/充分機能している」と自己評価した。他の4校では、評価体制は整備の途上であると回答し、今後の改善が期待される。

5-3 職員

①「動物病院に必要な職員が確保され、適切に配置されていますか?」の問に対して、酪農大、北里大、麻布大で職員が不足していると回答している。日大では専属職員の不足はあるものの、病院事務が委託業務により賄われていることから、「適切な部分が多い/おおむね機能している」と自己評価した。

②「動物病院の職員の採用・昇任・異動の方針が明確にされ、適切に運用されていますか?」の問に対して、酪農大では明確な運用方針がないことから、「適切でない部分が多い/機能していない部分が多い」と自己評価した。北里大、日獣大、麻布大では大学の規定により運用され、「おおむね適切である/充分機能している」と自己評価した。上記の評価は、前回の調査とほぼ同様であると考えられる。一方、日大では、病院事務は委託業務に移行していることから、該当なしと回答した。

③「職員の資質向上のための研修(SDなど)の取り組みが適切になされていますか?」の問に対して、前回の調査において、酪農大では行われていないとのことであったが、今回の調査では大学の規定に基づいて実施されていると回答した。研修内容に関して、北里大、日獣大では動物病院に特化したものではないと回答している。

④「動物病院の運営のための事務体制が構築され、適切に機能していますか?」の問に対して、前回調査において日獣大、日大では人員不足のため適切でない部分が多いと自己評価したが、今回の調査では「おおむね適切である/充分機能している」とし、改善が認められている。

5-4 教職員に対する自己点検・評価

各大学における教職員に対する自己点検・評価は、「適切な部分が多い/おおむね機能している」、あるいは「適切でない部分が多い/機能していない部分が多い」であり、前回調査とほぼ同様であった。このように自己評価が低い傾向にある原因としては、人員確保が進んでいないため、教職員が過重な臨床業務を負担していることが一因と考えられる。

5-1 教員

表5-1-①臨床教育組織に必要な人員は確保されているか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	現在、伴侶動物医療学分野では十分に確保されていない。欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の基準に準拠した教育体制の執行に合わせ、増員を計画している。
北里大	3	退職により欠員の生じた臨床系教員枠が補充されていない。
日獣大	3	獣医学科では臨床教育組織として臨床系職員が20名と動物医療センター専任獣医師が8名おり、教員の診療体系でみると内科系教員10名、外科系教員8名、産業動物臨床系が3名となっている。獣医学科は参加型臨床実習が5年次と6年次にあるため、年間を通じて動物医療センターでチュードレント・ドクターの学生の臨床教育をを指導しなくてはならず、現在の教員数では十分な臨床教育や研究をまかなえていないと言いはし難い。これに加え、夏季休暇中の産業動物実習の実施や平常時の学部学生教育への対応もあり、負担は大きいものとする。獣医保健看護学科では、専任教員21名の内、いわゆる臨床系教員（動物看護師含む）は、9名（43%）で、動物医療センターの内科系5名、麻酔1名、動物看護師3名である。動物医療センターにおける全ての動物看護実習を学科専任教員で対応することは難しく、獣医学科教員の協力を得て実施している。
麻布大	3	特任教員や看護師の増員が行われているが、学生数と教員数の比率をもとにすると、人員は不足している。
日大	3	日本の獣医学教育が真の国際化を目指すということであれば、臨床教員数の不足は明らかである。

表5-1-②臨床系構成（専任、兼任、臨時、年齢、専門分野）のバランスはとれていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	参加型臨床実習（クリニカルローテーション）を担う嘱託教員が不足している。また教員の年齢が逆ピラミッド構成となっていることが懸念される。専門分野としての教員構成にも一部に不足がある。
北里大	2	おおむねバランスが取られている。
日獣大	3	獣医学科における専任臨床系教員の構成をみると、教授8名、准教授4名、講師7名、助教1名であり、40代の教員が多い一面、特に若手30代の教員が不足している。臨床系教員は、教育・研究以外にも高い診療技術が必要であり、診療能力を高める上でも高度な診療技術を有する施設での臨床経験が重要である。このため、若手臨床教員を採用し、育てる環境が必要である。専門性については軟部外科教員の不足と神経系教員の不足が挙げられる。この他、臨床行動学の教員も不足しているため、早急な人材の確保が必要である。獣医保健看護学科の臨床系教員が主に所属する獣医保健看護学臨床部門は、教授2名、准教授2名、講師2名、助教2名、年齢は30代が最も多く4名で、40代、50代が各2名とバランスは取れている。その一方で、現在も不足気味である臨床系教員数については、愛玩動物看護師法の制定に伴うカリキュラムが検討結果によっては、さらなる充足が必要となることも考えられる

麻布大	2	定年退職者の代わりに、若年層の教員が加わったため、構成は改善した。半面、教授職の教員が少ない。
日大	3	年齢構成にアンバランスがあり、今後、10年間で明らかな逆ピラミッド型となる。また、専門分野によっては、担当を欠く診療分野、教育科目がある。

表5-1-③臨床系構成で補充したい分野はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	伴侶動物医療学分野で増員が求められている。
北里大	有	内分泌代謝病学、馬臨床学、臨床行動学、口腔疾病学、エキゾチック
日獣大	有	特に専門分野で不足している軟部外科系の教員や動物行動科の教員が不足している。参加型臨床実習での学生への指導・教育を臨床系教員だけでは賄うことができないため、医療センター専任獣医師にも学生の指導教育を行ってもらっている。 獣医保健看護学科では、愛玩動物看護師法が制定され、実践的な動物看護教育を担う動物看護師の必要性が増すと考えられ、充足が望まれる。
麻布大	有	麻酔分野の教員の補充が必要である。その他は、今後附属動物病院の方針が確立した際に明らかにできると考えている。
日大	有	眼科、内分泌、腎泌尿器診療、行動治療、栄養学分野の教員が求められている。

表5-1-④臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分は適切ですか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	現状では、嘱託教員の予定数を満たしておらず教員数が足りていないため、クリニカルローテーションや斉一教育としての臨床実習（外科実習・内科実習など）が重複する際に苦慮している部門がある。今後、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の認証取得に向けて人員整備が計画されている。
北里大	3	欠員や参加型臨床実習のために一部の教員に負担が偏っている。
日獣大	3	コアカリキュラムにおいて臨床系の専門分野の講義が増加したため、臨床系教員担当の選択必須科目が著しく増加した。さらに各研究室担当の実習、参加型臨床実習が加わり、教育担当時間が増えた。さらに各研究室所属学生の卒業研究の指導も加わり、診療以外の時間的負担もかなり大きい。このため、臨床系教員の充足が強く望まれる。 獣医保健看護学科の臨床系教員の担当する講義・実習は非常に多い。愛玩動物看護師国家試験のカリキュラムが決定され次第、学科のカリキュラム改定が行われる。カリキュラム全体を見て臨床系教員教育時間を検討する予定である。
麻布大	3	臨床系教員は、教育以外に診療の義務を負っていることを考慮すれば、基礎系教員に比較し教育担当配分時間は過重である。

日大	2	総合参加型臨床実習が取り入れられたことにより、臨床系教員の教育担当時間が急増している。総合参加型臨床実習では、教員は診療をしながら教育・指導を行わなければならない、通常診療に比較し多くの時間と労力を費やす必要がある。さらに、充実した実習を実施するためには、症例数を安定的に確保する必要がある。そのためには、実習期間外においても、積極的に診療業務を展開する必要に迫られている。したがって、総合参加型臨床実習を実施するに当たり、臨床系教員には単純な教育時間では評価できない負担が増している。そのことから、今後も臨床担当教員の充足が強く望まれる。
----	---	--

表5-1-③臨床系構成で補充したい分野はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	伴侶動物医療学分野で増員が求められている。
北里大	有	内分泌代謝病学、馬臨床学、臨床行動学、口腔疾病学、エキゾチック
日獣大	有	特に専門分野で不足している軟部外科系の教員や動物行動科の教員が不足している。参加型臨床実習での学生への指導・教育を臨床系教員だけでは賄うことができないため、医療センター専任獣医師にも学生の指導教育を行ってもらっている。 獣医保健看護学科では、愛玩動物看護師法が制定され、実践的な動物看護教育を担う動物看護師の必要性が増すと考えられ、充足が望まれる。
麻布大	有	麻酔分野の教員の補充が必要である。その他は、今後附属動物病院の方針が確立した際に明らかにできると考えている。
日大	有	眼科、内分泌、腎泌尿器診療、行動治療、栄養学分野の教員が求められている。

表5-1-④臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分は適切ですか？

大学	有無	コメント
酪農大	3	現状では、嘱託教員の予定数を満たしておらず教員数が足りていないため、クリニカルローテーションや斉一教育としての臨床実習（外科実習・内科実習など）が重複する際に苦慮している部門がある。今後、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の認証取得に向けて人員整備が計画されている。
北里大	3	欠員や参加型臨床実習のために一部の教員に負担が偏っている。
日獣大	3	コアカリキュラムにおいて臨床系の専門分野の講義が増加したため、臨床系教員担当の選択必須科目が著しく増加した。さらに各研究室担当の実習、参加型臨床実習が加わり、教育担当時間が増えた。さらに各研究室所属学生の卒業研究の指導も加わり、診療以外の時間的負担もかなり大きい。このため、臨床系教員の充足が強く望まれる。 獣医保健看護学科の臨床系教員の担当する講義・実習は非常に多い。愛玩動物看護師国家試験のカリキュラムが決定され次第、学科のカリキュラム改定が行われる。カリキュラム全体を見て臨床系教員教育時間を検討する予定である。
麻布大	3	臨床系教員は、教育以外に診療の義務を負っていることを考慮すれば、基礎系教員に比較し教育担当配分時間は過重である。

日大	2	総合参加型臨床実習が取り入れられたことにより、臨床系教員の教育担当時間が急増している。総合参加型臨床実習では、教員は診療をしながら教育・指導を行わなければならない、通常診療に比較し多くの時間と労力を費やす必要がある。さらに、充実した実習を実施するためには、症例数を安定的に確保する必要がある。そのためには、実習期間外においても、積極的に診療業務を展開する必要に迫られている。したがって、総合参加型臨床実習を実施するに当たり、臨床系教員には単純な教育時間では評価できない負担が増している。そのことから、今後も臨床担当教員の充足が強く望まれる。
----	---	--

5-2 教員への支援体制

表5-2-①臨床系教員の採用・昇任への基準はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	獣医学群では、臨床系教員の内部昇格基準（職階の在任期間、研究実績、競争的資金の取得、診療実績など）が制定されている。採用基準は、概ね昇格基準に準じている。
北里大	有	「獣医学部教員選考に関する申し合わせ事項」により、獣医学部教員の採用および昇任等の選考手続き及び資格基準等について定めている。獣医学部を構成する各学科の特性をふまえて「獣医学科の教員資格基準」を制定している。さらに、この基準には臨床系教員の研究業績に対する事項がある。また、実務家教員（臨床教授、臨床准教授など）についても資格基準を設けている。
日獣大	有	獣医学科では、基本的に大学院生命科学研究科獣医学専攻の教員資格審査基準によって基礎・応用・臨床系全ての教員を含む専任教員の採用ならびに承認の基準が設けられているが、一部実務家教員としての評価も行っている。獣医保健看護学科では、大学院獣医生命科学研究科獣医保健看護学専攻博士後期課程の教員資格基準によって研究業績を評価している。臨床系教員の区分はないが、専門分野：先端獣医保健看護学において理系教員と社会科学系教員の区分があり、臨床系教員の研究業績は、これまでの研究業績を踏まえて資格審査小委員会にて審査基準の区分が審議される。
麻布大	有	臨床系教員には研究業績のみならず診療業績を加味した基礎系教員とは異なる採用・昇任の評価基準が設定されている。
日大	有	獣医学科には、教員の採用、承認基準が学部のものとは別に定められている。基本的には、臨床系教員の採用・昇任基準は、基礎、応用系教員と同様であるが、臨床系教員の場合、研究業績として、日本語論文も認められている。

表5-2-②臨床系教員の研究教育活動を支援するためにTA(Teaching Assistant) 等が適切に活用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	大学院獣医学研究科学生の TA 機能が活用され、学生実習の補助等に携わっている。
北里大	2	一部の研究室では大学院生が不在なために十分に活用されているとはいえない。

日獣大	1	大学院における TA 並びに RA による教育・研究活動支援制度が整っている。獣医学専攻では、大学院生の希望により TA または RA の選択が可能であるが、近年、ほとんどの大学院生の RA 希望者が多く、実習への補助活動に大学院生を強制的に協力させることはできない。また、大学院への進学率は年によって異なり、常に一定数の TA 数が望めないのが現状である。獣医保健看護学専攻において、基礎系も同様であるが臨床系研究室に所属する大学院生数は年度により変化があるため、安定的な大学院進学が望まれる。
麻布大	2	臨床実習において大学院生を TA として採用し、実習の補助に活用している。しかし、臨床系研究室の大学院生の数は少ないのが現状である。
日大	1	大学院生を TA として採用している。TA を希望する大学院生は臨床系にも多く、適切に活用されている。

表5-2-③研究教育目的を達成するための研究教育費が適切に配分されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	本学には教育研究支援のための予算が学群に配分され、各学類の教育ユニットに配分されている。また、学群研究生には研究予算が別途計上されている。
北里大	1	全ての研究室で均等に一定額の基礎配分が行われており、さらに教員数、担当実習科目数、所属学生・大学院生数に応じて適切に研究費が配分されている。適切に研究費が配分されているかは、教育委員会、運営委員会、教授会で協議・確認されている。
日獣大	3	獣医学科における研究・教育費は実習の単位数および各研究室所属の教員数・職位を基準に配分されており、実習内容による経費の違いや研究内容を加味した予算配分ではないため、適切な配分とは言い難い。 獣医保健看護学科の教育研究費は、学部予算委員会案を元に、基礎、臨床、応用の3部門に予算配分している。実習、講義数、教員数などから部門間で差があるが、外部あるいは学内の競争的研究資金などの獲得もあり、適切に配分されていると考える。
麻布大	2	教員一人あたりの個人研究費は、基礎・臨床を問わず均等に配分され、実習費は単位数で配分されている。
日大	1	定額研究費が全教員に対して等分に配分されている。研究室に配分される学生教育費は、実習単位数、研究室所属学生数で計算されている。

表5-2-④研究教育活動の向上のために FD 等の取り組みが適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	FD 推進委員会があり、年次計画を中心に教育向上を図るための研修を行うとともに、授業アンケートを開示し、改善点を提出させることにより向上を目指している。
北里大	1	年2回以上FDが実施されている
日獣大	1	大学FD委員会によるFD講習会は実施されているが、特に臨床教育に特化したものではない

麻布大	1	学生から評価の高かった授業の紹介や、学生のメンタルサポートに関するFD活動が積極的に実施されている。また、著作権や研究倫理に関するe-ラーニングやFD活動も実施されている。
日大	1	大学主催および動物病院主催によるFD講習会が年に複数回実施されている。

表5-2-⑤臨床系教員の研究教育活動を活性化するための評価体制が整備され適切に運用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	これまで研究教育活動の評価は論文数、研究費獲得数等は主であったが、今年度より全学的に教育実績、学群運営協力実績、病院活動実績、社会活動実績等も加味した総合教員評価へと移行する予定である。
北里大	1	毎年実施される自己点検（専任教員の評価に関わる評価項目）において診療を担当している教員には、独自の評価基準項目が設置されている。
日獣大	3	本学では多くの学部教員に対して任期制を取っており、臨床系教員においては臨床実績も一部評価対象となっている。しかしながら、この評価が研究教育活動の活性化に通じるかどうかは疑問である。将来的に基礎系・応用系と臨床系教員の評価基準を見直す必要がある。
麻布大	2	臨床系独自の評価基準がある。必要に応じてワーキンググループを立ち上げて、評価基準の見直し、改善を実施している。
日大	4	臨床系教員が行う診療活動に対する評価体制は策定されていない。

5-3 職員

表5-3-①動物病院に必要な職員が確保され、適切に配置されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	病院担当教員、動物看護師などのスタッフともに不足している。
北里大	3	本学では、本来動物病院に事務長職がなく、大学事務長がその職を兼務している。4年前より特任助教の雇用を開始し、現在2名の特任助教が臨床および教育に携わっているが、二次診療施設としてカバーできていない診療科もまだ多い。また、麻薬および向精神薬をはじめとする薬剤管理においては、今後、薬剤師の雇用を考える必要がある。
日獣大	2	付属動物医療センターには、専任獣医師（教員）9名、研修獣医師26名、動物看護師17名、事務職員5名（パート事務員含む）、技術系職員2名を配置している。
麻布大	3	特任教員や看護師の増員をすることにより充実化を図っている。しかし専門分野が高度化し多岐に亘る現在、科別診療で主治医となる教員数は今なお不足している。さらに、薬剤師、事務職員等の診療支援人員も不足している。
日大	2	動物病院業務のうち、大半にあたる窓口業務、予約管理、会計業務は、業務委託により賄われている。専任の職員自体の人数は不足しているものの、これらの動物病院業務の機能に支障はない。

表5-3-②動物病院の職員の採用・昇任・異動の方針が明確にされ、適切に運用されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	明確な方針はない。一部職員は業務委託となっている。
北里大	3	病院職員の採用は、毎年、学部として策定される人員計画に基づいて実施されている。職員の昇任および異動に関しては、病院長ならびに臨床系教員が関与することはなく、学部の規程に従って運用されている。
日獣大	1	付属動物医療センター獣医師には採用、昇任に関する基準が設定されている。職員に関しては学校法人日本医科大学の規定に基づき運用されている。
麻布大	1	大学の規定に従って、適切に運用されている。
日大	該当なし	病院業務のほとんどは、業務委託により賄われていることから、設問には該当しない。

表5-3-③職員の資質向上のための研修(SDなど)の取り組みが適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	酪農学園大学 FD 委員会規程並びに酪農学園職員研修規程に基づいて実施されている。
北里大	3	学部として教職員に対する研修(FD)は定期的実施されているが、病院専任の職員に対する、病院業務および管理に特化したSDはほとんど実施されていない。
日獣大	2	管理運営や教育・研究支援を含めた資質向上のため、大学にSD委員会を設置し、付属動物医療センターの教職員を含めた研修等の取り組みを行っている。なお、付属動物医療センター独自の研修は行っていない。
麻布大	1	大学としてSD活動に積極的に取り組んでいる。
日大	1	新年度における動物病院主催の各種教育訓練、FD講習会、そして、学部主催のFD講習会への参加を促している。

表5-3-④動物病院の運営のための事務体制が構築され、適切に機能していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	専任の事務職員2名が配置されている。ほかに伴侶動物部門受付5名、生産動物部門受付1名の臨時職員の構成になっている。
北里大	2	動物病院の事務体制は、病院事務および大学の総務課で構築され、適切に機能している。現在、電子カルテ化によって会計処理の負担はかなり軽減されたが、専任職員2名と臨時職員2名のみで小および大動物の事務を運用しているため、十分な人員数ではない。
日獣大	1	付属動物医療センターの事務体制は、事務室長、事務職員4名(内パート2名)の計5名により、受付(初再診受付、カルテの搬入・整理、会計精算、電話診療予約等)、物品管理(購入手続、在庫管理)、院内会議運営事務等を行っている。

麻布大	2	病院事務室には正規職員 2 名と派遣職員 4-5 名が所属し、病院運営のための事務体制は構築されている。しかし業務量が多いため、増員の必要がある。
日大	1	業務委託ではあるが、適正な事務員数が配置され、動物病院事務として、適切に機能している。

5 - 4 教職員に対する自己点検・評価

大学	評価	コメント
酪農大	3	附属動物医療センターにおいて、教員と職員の連携は確立されており、臨床教育の運営は円滑である。伴侶動物医療では、嘱託教員が定数に達していないためクリニカルローテーションや診療業務が十分でないところもあり、社会活動は充分とは言い難い。両分野の臨床研究の整備のために「臨床研究倫理委員会」の設立作業中である。EAEVE の取得に向け、新カリキュラム実施に向けた人員整備によって充実した臨床教育が期待される。なお、一次診療の学外実習を予定しており、大学近隣の開業獣医師（ステーキホルダー）とは緊密な連携を取る必要があることから、委員会を立ち上げ連携体制を検討している。
北里大	2	臨床系教職員の構成および研究支援体制は概ね適切であるが、教員の欠員や臨床参加への時間的な不均衡によって、一部の教員に負担が偏っている。また、大学附属病院として必要な専門診療科を欠いているため、これらの補充が今後の課題である。
日獣大	3	獣医学科臨床系教員は、臨床・教育の負担が大きいため、各教員が研究を行うための時間的余裕が少ない。このため、学部教育における非常勤講師の活用をさらに増加し、教員一人当たりの負担を減らさなければならない。また、医療センターの臨床獣医師の増員を行うにしても現状の医療センターの診療面積が狭いため、抜本的改善策にはならない。このため、早急な施設拡充が必要である。さらに、現在、高度医療機器のメンテナンスを臨床獣医師が行っているが、将来的に専属の臨床工学技士を雇用し、獣医師の業務負担を軽減させる必要性がある。
麻布大	2	自己点検・評価は、研究業績などの報告を含めて適切に行われているが、今後更なる改善が必要である。
日大	2	臨床系教員数が絶対的に不足している。一方で、職員については、業務委託分に関しては、適切な人数が確保され、良好に機能している。

6. 管理運営

- ① 動物病院の管理体制と整備については、日大を除いて運営委員会が設置されておりこの運営委員会を中心に管理運営が行われている。概ね適切に運営されているが、日大では管理部門の職員数が不足しているようである。
- ② 動物病院における管理部門と教育部門の連携については、各大学円滑に行なわれているようだが、日大では管理部門の職員数の不足により、教員の負担が増している。
- ③ 臨床系教員の教育研究指導への配慮については、各大学とも適切に配慮している。日獣大においては産業動物における学内臨床教育も改善される傾向にある。
- ④ 臨床研修と教育の両立に関しては、大学間でさまざまであるが、日大および酪農大においては診療件数の多さとコアカリキュラム導入による教育準備の時間的制限が発生している。
- ⑤ 病院危機管理体制については、各大学によって対応内容の違いが見受けられ、個別の案件に対し、対応マニュアルが作成されているようである。しかし、アンケートの質問事項が詳細について問われていないので、コメントだけでは状況が把握しがたい。
- ⑥ 管理運営体制に対する自己点検・評価については、各大学で運営体制に大きな不備はないが、特に日大では管理部門の職員数の不足による教員負担が多いことが挙げられている。また、医療事故に対する危機管理は全体として構築されているようだが、その他、自然災害時に対するマニュアルが設定されているのか不明な点が多い。

6. 管理運営

表6-①動物病院における運営管理体制が整備され、適切に配置されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	附属動物医療センター長・副センター長を中心に他学群の教員も構成員となっている附属動物医療センター運営委員会によって管理運営を行っている。日常的には部門ごとの打ち合せによって運営している。
北里大	1	動物病院の運営は、学部運営委員会とその下部組織である動物病院運営委員会によって適切に管理されている。
日獣大	1	院長、副院長 2 名、内科診療科長 1 名、外科診療科長 1 名、動物看護科長 1 名、事務室長 1 名を軸として構成され、その他必要に応じて検査部門係長 1 名、動物看護師係長 1 名、専従獣医師代表 1 名を加えた拡大版管理体制も構築している。副院長 2 名のうち、1 名は外科診療科責任者、他は内科診療責任者と検査・薬剤関係の責任者として分担している。そして各診療科長、検査部門係長、動物看護師係長、専従獣医師代表はそれぞれにおいて勤務する従事者の意見を集約している。
麻布大	1	本学附属動物病院の管理運営は、病院長・学部長・学科長をはじめ臨床系以外の教員等で構成される動物病院運営会議を中心に、その下部組織として小動物診療部・産業動物診療部・検査部・研究部・教育部等の部門会議で意思決定されている。民主的な運営管理体制が整備され、適切に運営されている。
日大	2	動物病院長および付属施設事務課長を中心とした、管理運営が行われている。しかし、管理部門の職員数は不足している。

表6-②動物病院における管理部門と教育部門の連携が適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	附属動物医療センターにはセンター長と副センター長の下、各診療科長が配置されている。教育部門としては生産動物医療学分野と伴侶動物医療学分野があり各分野長が統括している。センター長、副センター長、および2分野長の4名は各々の役割において日常的に確認しあい、連携を密に教育、診療活動を行っている。
北里大	1	定期的に行われる病院会議において、病院の事案のみではなく、臨床教育およびカリキュラムに関する議論および意見交換が行われており、病院の管理部門と教育部門との連携は良好で、病院を利用した教育は円滑に行われている。
日獣大	1	管理部門のメンバーは学生の臨床実習を運営するメンバーでもあるため、両部門の連携は適切になされている。
麻布大	1	病院の管理部門と獣医学臨床系や基礎系等の教育部門との連携はなされており、おおむね適切である。
日大	2	管理部門である付属施設事務課と教育部門である学科が連携しているが、管理部門の職員数が不足していることから、教育部門である教員の負担が大きくなってしまっている。

表6-③臨床系教員の、動物病院内での教育研究指導への配慮は適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	学習の到達目標を示し、臨床に関わる基本的知識と基本的技術を教育するために、自学自習を促して問題解決能力の醸成に配慮している。また、科学的知識や医療技術の進歩に対して知的向上心を抱くような教育環境、助言等を心がけている。
北里大	2	病院実習および参加型臨床実習への教員の参加に関しては、教員の経験に基づいて一定の基準を定めている。
日獣大	2	伴侶動物に対する教育研究指導は付属動物医療センター内でのラウンド実習があるため、適切に行われている。一方、産業動物に関する臨床教育は本学内においても適切に行われるよう徐々に整いつつある。
麻布大	1	附属病院内に教育部を設け、獣医学部学生のみならず研修獣医師教育にも積極的に取り組んでいる。
日大	1	動物病院内における臨床系教員の教育研究指導対象は、研修医、総合参加型臨床実習を受講する学部学生、臨床系研究室に所属する学部学生および大学院生である。これらの活動は、学部により認識され、適切な予算措置が執られている。

表6-④臨床研修と教育を両立させるための配慮は充分されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	臨床研修については3年間の研修内容と目標を定め、実際に運用している。診療行為が多いため、授業準備時間に対する配慮は十分といえない部分がある。
北里大	2	新任および若手臨床系教員に対しては、学会および研修への参加を目的とした金銭的な補助を行っている。また、研修医と学部学生の教育は完全に分離して実施されており、臨床研修と教育はそれぞれ適切に行われている。
日獣大	1	臨床研修と教育の両立が図れるような診療体制となっている。
麻布大	2	研修獣医師対象の教育プログラムを数年ごとに更新し、臨床研修と教育を両立させる配慮はなされている。
日大	3	モデル・コア・カリキュラムに準拠したカリキュラムを導入したことにより、授業科目数が急増し、その結果、診療業務および臨床研修に割く時間が制限されることとなった。今後、授業科目の統廃合することにより、臨床業務と教育の効率化を図る必要がある。

表6-⑤動物病院運営にあたり、危機管理体制は整っていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	付属動物医療センターでは、火災、震災等の対応は本学危機管理対策委員会の下で体制を構築している。また感染症については専門委員会、学生支援課、医務室と連携して対処する体制としている。

北里大	2	学部における防疫委員会、バイオセーフティ委員会、コンプライアンス委員会、衛生管理委員会および院内における感染制御規程によって、感染症や学生の事故に対する危機管理体制は整っている。しかし、医療事故に対する危機管理は脆弱であり、入院中における不慮の事故や医療過誤に備えるための危機管理マニュアルを制定する必要がある。
日獣大	3	獣医師賠償保険に動物医療センターに勤務する教職員、臨床研修獣医師、動物看護師が加入していることからある程度の保証はされている。一方、獣医療過誤については飼い主から訴えがあった場合は、診療の妥当性などに対する検証を担当外の複数の獣医師によって行っている。しかし、検証する獣医師は外部から招聘していないのでその点についての整備が必要であると考えられる。
麻布大	2	危機管理マニュアルを制定して、不慮の事故に備えている。定期的なマニュアルの見直しは必要である。
日大	2	月1回、医療安全管理委員会が開催され、院内でのインシデント、アクシデントの報告およびその対策、再発防止策について、協議している。ただし、この委員会に上がってこない案件がどうしても散見することから、問題点を吸い上げる仕組みを工夫する必要がある。

表6-⑥管理運営体制に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	2	教育運営、病院運営ともに適正な組織構築されており、両者の連携は概ね取れている。
北里大	2	危機管理体制の構築では未だ不十分な部分があるが、動物病院における管理部門と教育部門の相互関係は十分に機能しており、臨床教育は円滑に行われている。
日獣大	1	適切な診療業務が行われるように拡大管理運営に関わるメンバーそれぞれに役割を分担し、かつ適宜会議を開いてコンセンサスを得ながら行っているため適切な管理運営体制がなされていると考えている。
麻布大	2	病院の管理運営体制については適切な部分が多いと自己評価するが、教員の診療業務については診断・治療法等について適正に行われているか否かのチェック機構を設ける必要があると思われる。
日大	2	管理部門の職員数が不足していることから、教育部門である教員の負担が大きくなる傾向にある。教員による管理負担を軽減するため、職務分担の制度見直し、管理業務の簡素化、効率化を図る必要がある。危機管理体制については、医療事故に偏重している傾向がある。今後の体制作りとしては、自然災害発生時の対応を事前に協議する必要がある。

7. 財務

- 1) 5大学とも、動物病院の収支バランスはほぼ適切である。必要経費もおおむね確保されているが、高額医療機器購入や更新については酪農大と北里大で予算確保に懸念が生じている。(表7-①)
- 2) 5大学とも、会計処理はほぼ適切に行われている。麻布大以外の大学においては、病院に加え、他の部署あるいは機関とも連携しチェックされている。日獣大では公認会計士による監査を実施している。時代の要請に応じて、非現金での会計が進んでいる。(表7-②)
- 3) 財務情報の公開については、日獣大、麻布大および日大では公開されている。酪農大と北里大では動物病院単独での情報は非公開だが、大学あるいは学部予算との兼ね合いがあるためであり、それ自体は特別な問題ではなく、全体としてはおおむね適切に行われている。(表7-③)
- 4) 日大以外の4大学では、外部資金導入として受託研究、供試研究等が積極的に行われているほか、麻布大では寄附講座も設置している。(表7-④)
- 5) 5大学とも、運営管理体制についてはほぼ適正であると評価している。ただし、動物病院の役割である診療(収益確保)と教育のバランスをとることに苦慮している大学も少なくない。(表7-⑤)

7. 財務

表7-①動物病院に必要な経費が確保され、かつ収入と支出のバランスが配慮されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	必要な経費はおおむね確保されているが、大型機器の更新の際の特別予算査定が年々厳しくなっている。収支のバランスについては、教育病院としての役割を考慮するとある程度のマイナスはやむを得ないものと考えている。
北里大	2	病院経費の内、一部の人件費および光熱費等は学部依存しているが、その他の部分では収入と支出のバランスは維持できており、毎年一定の収益が得られている。しかし、高額医療機器の老朽化に伴う更新については、引当金の予算計上が不可能であるため、その都度学部依存しなければならないのが現状である。
日獣大	1	附属動物医療センター予算について、人件費、管理費、医療経費（薬品費・材料費）、機器購入費について、収支バランスを配慮した予算編成及び予算執行を行っている。
麻布大	2	高度医療機器の購入や維持管理などについては、特別予算措置が必要である。
日大	1	必要な経費は確保されており、収支バランスのとれた運営がなされている。

表7-②動物病院の会計処理は適正になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	現金、クレジットカード、銀行振込を附属動物医療センター受付、事務課、ならびに法人事務局財務課にてチェックを行い適正に処理している。
北里大	2	本学総務課との連携によって適正に処理されている。また、電子カルテ化によって、会計処理の正確性と迅速性は向上している。しかし、毎年一定の未収金が発生しており、この回収が今後の課題である。
日獣大	1	収入については、附属動物医療センター会計窓口及び事務部庶務課（経理課係）で適切に会計処理を行っている。また、公認会計士による監査を年2回実施している。
麻布大	2	病院事務室において適切に行われている。
日大	1	学部会計課との連携の下、適切な処理がなされている。また、飼い主への利便性向上のため、各種クレジットカードの取扱を充実した。

表7-③動物病院の財務情報の公開が適切になされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	附属動物医療センター単独での公開は行っていないが、法人及び大学の財務状況を適切に公開している。
北里大	2	動物病院の決算自体は、運営報告書等で学内の教職員に公開されているが、経費の一部が学部予算と切り離すことができないため、動物病院単独での財務情報は公表していない。

日獣大	1	学内会議「大学戦略会議」において収支状況が報告され、同報告に基づき「学部教授会」及び「理事会」にて報告されている。
麻布大	1	病院の各委員会や理事会などにおいて開示している。
日大	1	家畜病院運営委員会において、公開されている。

表7-④外部資金の導入（委託事業・収益事業など）の努力はされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	有	教員は研究に係る外部資金の導入に努力している。
北里大	有	本学には、獣医臨床試験センターが設置されており、動物病院を利用した受託研究および助成研究等を統括している。現在、このセンターを通して積極的に外部資金導入の努力を行っている。
日獣大	有	動物医療センターを利用した供試試験や受託研究が行われている。外部試験導入については検討中である。
麻布大	有	供試試験や受託研究の受け入れおよび病院の施設などで行われる開業獣医師対象の卒後教育の実施など、診療収入以外の資金導入に積極的に取り組んでいる。また病院内に寄附講座も設置している。
日大	無	動物病院での委託事業・収益事業は行っていない。

表7-⑤運営管理体制に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	2	適切な運営管理体制が構築されている。教員の診療と教育のバランス、収支のバランス、スタッフ数等中長期的な観点でより一層の充実を図りたい。
北里大	2	動物病院の運営管理体制は概ね良好であると自己評価するが、病院の経費が学部によって賄われている部分が多く、毎年の決算が単なるキャッシュフローのみを示すものとなっている。ゆえに、動物病院としての実質的な成長が見えにくくなっている点については今後改善の余地がある。
日獣大	1	動物医療センターの管理運営体制については、同センター内の会議を経て、動物医療センター運営委員会にて財務状況やスタッフの労働環境などは管理しているが、診療体制については学部教員が兼業であるため、診療以外の業務による繁忙から十分機能しているとは言えない。今後は、学部教員の依存度を下げつつ、効率的な収益増加について検討していく必要があると思われる。
麻布大	2	病院は教育面と収益の両方を考える必要がある。教育は柱であることは言うまでもないが、収益面は、学園として方針を明確にする必要がある。
日大	1	必要な経費は確保されており、収支バランスのとれた運営がなされ、財務情報は公開していることから、動物病院の財務は適正に管理運営されていると評価される。

8. 研究教育環境

各大学とも「適切な部分が多い」あるいは「おおむね適切である」と評価している。法人あるいは動物病院関係者による委員会にて、附属動物病院における外来症例や入院症例の受入施設が整えられている。また最新かつ高度な検査・治療機器が随時更新され、症例から得られた知見を学術論文として発信している大学もある。充実した研究・教育環境を整備している大学が多い一方で、学生数に見合った自習室や休憩室などが不足している大学もある。(表8-①)

施設設備の維持、管理、運営は、各大学において概ね適切に行われている。業務委託や機器メーカーとの保守契約により、施設設備は最良な状態に保たれている大学が多い。(表8-②)

委託警備会社による警備体制の構築や電子錠によるセキュリティ、適切な防火施設とその定期点検、放射線防護対策ならびに放射線従事者の定期的な健康診断、防犯カメラの設置、麻薬などの向精神薬の施錠管理などを行うことで、動物病院の安全性を確保している。(表8-③)

各大学では、MRIやCT、X線照射装置などの施設設備を備えて高度化する獣医療を維持・発展させ、充実した臨床教育・研究を展開するように努めている。一方で高額機器の維持・更新や建物の更新などの費用の確保が課題と考える大学もある(表8-④)

8. 研究教育環境

表8-①研究教育環境として、動物病院は整備され、かつ有効に活用されていますか？いますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	2016年6月に附属動物医療センター本館の改修を行い、臨床獣医学教育研究棟を増築した。現在は、本館、臨床講義棟、実習棟、入院棟、感染動物管理棟、臨床獣医学教育研究棟と充実した教育研究環境を整備している。
北里大	1	十分整備されており齊一教育（病院実習、参加型臨床実習）、卒業論文研究、治験などに有効活用されている。
日獣大	1	動物医療センターの外来症例から得られた材料に基づいて高度な臨床教育ならびに研究が展開できている。その成果として、本学の獣医学科教員や大学院生などが執筆した学術論文が評価の高い学術雑誌に多く公表されている。
麻布大	2	病院でラウンド実習を行う学生数は30~40名/日であるため、学生の自習室や休憩室を含め手術室や処置室等すべての面積が不足している。病院の拡充が必要である。
日大	1	最新かつ先端的機器の整備が随時更新されており、加えて、数、内容ともに豊富な臨床症例があり、研究教育環境は充実しており、有効活用されている。

表8-②研究教育活動の目的を達成するための施設設備が適切に維持・運営されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	法人事務局施設課、業務委託会社と連携し、適切な点検、維持管理を行っている。
北里大	1	動物病院運営委員会において検討し、教授会において協議・承認され、適切に施設設備が維持管理されている。
日獣大	1	診療機器ならびに施設ともに維持、管理、そして運営ともにスムーズに行われている。
麻布大	1	設備は適切に維持、運営されているが、施設は、面積不足と老朽化が問題である。
日大	1	必要となる施設設備およびその整備は、臨床系教員からの意見を集約することにより、選定されている。また、機器メーカーと保守契約を結ぶことにより、施設設備は万全な状態に保たれている。

表8-③動物病院の施設設備の安全性は確保されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	業務委託会社による警備体制及び電子錠によるセキュリティを確保している。定期的に施設設備の点検を実施している。放射線関連機器の点検も実施している。
北里大	2	職員および学生への健康被害が生じ得る主要な施設は、附属動物病院感染制御規程および附属動物病院核医学放射線障害予防規程に基づいて運用されており、概ね安全性は確保されている。

日獣大	1	動物医療センターの建築基準に沿って建設されており耐震構造である。消防署が実施する防火施設の定期的点検、また放射線関連施設の定期的点検でも合格している。放射線従事者（教員・研修獣医師）の健康診断も定期的に行われている。
麻布大	2	放射線治療装置や診断装置は、放射線障害防止法や電離則等の法令を遵守し、その安全性を確保している。麻酔薬等の抗精神薬等は施錠可能な部屋で管理している。
日大	1	学部との緊密な連携を保ち、向精神薬を始めとする薬品の厳重管理、警備員の配置、防犯カメラの設置、放射線障害防止対策、機器メーカーによる保守の実施など、動物病院の安全面において万全に配慮している。

表8-④研究教育環境に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	1	2016年の増改築によって十分な面積を確保している。MRI、CT、X線照射装置等の医療機器を備え、高度な診療に対応できる設備を有している。今後もさらなる充実を目指していきたい。
北里大	2	研究教育環境は概ね適切である。しかし、施設および設備が老朽化しているものもあり、更新に際して費用をどのように確保するかが当面の課題である。
日獣大	1	動物医療センター内の診療機器、硬度画像診断装置、そして放射線治療器は臨床教育ならびに研究に極めて有効に活用されている。また図書館棟そして新設された教育棟を含め、研究教育環境は良好に整備されている。
麻布大	2	適切な部分が多いが、病院施設の老朽化や学生や研修医数に比較し研究教育面積が不足している点を早期に改善する必要がある。
日大	1	優れた設備と備品環境に恵まれ、臨床症例数も豊富であることから、動物病院は研究教育活動を行う上で、非常に充実している。

9. 社会連携

- ①各大学とも前回調査と同様、積極的にセミナーや卒後教育に取り組んでいる。そして、北里大と麻布大では、体験学習生の受け入れをしており、獣医療への興味を引く上で有効と思われる。
- ②各大学の研修獣医師制度は、前回調査時より充実したものとなっている。
- ③前回の調査時と同様に、他大学との交流を行うよう努めている。
- ④職場体験やインターンシップの受け入れ、地域社会との協力関係を構築し交流を図っている。特に、酪農大は NOSAI と教育研究に係わる包括連携協定を締結しているのが特徴である。

9. 社会連携

表9-①動物病院が物的・人的資源（施設の解放、臨床セミナー、卒後教育、生涯教育等）を社会に提供する努力がなされていますか？

大学	有無	評価	コメント
酪農大	有	1	附属動物医療センター、獣医学群、社会連携センター、入試課、広報課、卒業生などの組織が協力連携し卒後教育や生涯教育の場として学内外ともに開放している。
北里大	有	1	大学が主催して毎年行われる公開講座、動物病院セミナー、体験学習では、必要に応じて施設を開放しており、地域市民を対象とした科学アカデミーでは、要請に応じて講師の派遣を行っている。
日獣大	有	1	獣医学部・獣医学科のみならず、本学・広報委員会などの組織が中心となって、学生や研究生、臨床獣医師のみならず、一般市民にも卒後教育や生涯教育の場を提供している。
麻布大	有	2	各獣医師会主催の生涯教育に対する施設解放や臨床セミナー等への臨床系教員の講師参画など、人的資源として社会貢献している。また、相模原市と協定のもとで保護動物の避妊去勢手術などを実施している。
日大	有	1	近隣中学校からの職場体験学習生の受け入れ、臨床セミナーの企画、外部学術団体に対する施設の貸出、講師の派遣を積極的に行っている。また卒後教育として、動物病院の各診療科に獣医師の見学を積極的に受け入れている。

表9-②動物病院において、研修獣医師制度を設けていますか？また、制度は適切に運営されていますか？

大学	有無	評価	コメント
酪農大	有	2	生産動物（2名）、伴侶動物（12名）ともに病院獣医師（旧研修医：最長3年間）制度があり、各科において診療の補助を行っている。
北里大	有	1	研修獣医師制度は、獣医師の臨床研修に関する規程によって運用されており、常勤の研修医のみでなく、特定の専門診療科における研修制度も設けている。
日獣大	有	1	現在では臨床研修獣医師制度は2年制（前期、後期）とし、全体で26名が在籍している。勤務時間内（8:30～17:00）に臨床研修プログラムに沿った臨床研修が行われるよう運営されている。
麻布大	有	2	全科研修獣医師・専科研修獣医師制度のもとで研修獣医師を受け入れている。制度は適切部分が多いが、教育プログラムの更なる充実が必要である。
日大	有	1	他の獣医科大学にはない4年制プログラム（診療科ローテーション、専科）を有しており、充実した研修医制度を運用している。

表9-③教育研究上において、他大学との適切な関係が構築されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	2019年度まで北海道科学大学と連携し、共同研究を行っていた。他大学の学生の見学・実習受け入れも実施している。他大学から委員の委嘱を受けている教員もいる。

北里大	1	臨床系の一部の研究室は、大学間連携による共同研究を行い外部資金を獲得している。また、臨床系教員が他大学の非常勤講師として委嘱あるいは被委嘱されることで、教育における大学間の連携に寄与している。
日獣大	1	本学では武蔵野地域5大学と一部の教科について単位互換を行い、またセミナーを公開するなど他大学との連携をとるよう努めている。
麻布大	2	他大学との共同研究や病院見学の受け入れを実施している。また病院セミナーなどで他大学の教員を特別講師として招聘している。
日大	1	動物病院では他大学から学生を積極的に研修に受け入れている。また、研究面においては教員が個々に交流を構築する体制を整えている。

表9-④大学と地域社会の協力関係は構築されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	有	伴侶動物の二次診療、インターンシップの受け入れ（中学・高校・専門学校）、セミナーの実施、NOSAI（農業共済組合）と教育研究に係る包括連携協定を締結している。
北里大	有	附属動物病院における小学生の見学や中学生の職場体験が毎年行われており、地域社会との協力関係は良好に維持されている。また、定期的に公開病院セミナーを実施しており、近隣の獣医師との関係構築に努めている。
日獣大	有	本学の臨床系教員のみならず大学全体で、地域社会との連携をとり講師派遣を行い、地域社会に貢献している。
麻布大	有	市民講座への教員の参加や、地域獣医師会との交流などを行っている。
日大	有	充実した二次診療体制、近隣の中学校からの職場体験学習の受け入れなど、地域社会と十分な協力関係を構築している。

表9-⑤社会連携に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	2	様々な内容で地域社会との連携を実施し貢献している。
北里大	2	動物病院と地域社会との連携は概ね良好に機能している。しかし、地域の獣医師を対象としたセミナーの開催回数が少ないため、校内で開催している獣医学科セミナーなどを外部の獣医師にも公開する等、今後さらに企画を増やす必要がある。
日獣大	1	決して十分とは言えないが、地域社会と様々な大学、研究機関との連携をとって研究教育活動を行い、臨床教育においては、各地域の獣医師会に講師を派遣し、卒後教育に大きく貢献している。
麻布大	2	神奈川県、相模原市との協定、院内セミナーや酪農家への啓蒙活動を通じて社会連携を実施している。
日大	1	充実した二次診療体制、近隣中学校からの職場体験学習生の受け入れ、臨床セミナーの企画、外部学術団体に対する施設の貸出、講師の派遣、充実した研修医制度を通じて、十分な社会連携を行っていると評価される。

10. 社会的責務

- ① 「動物病院が物的・人的資源（施設の開放、臨床セミナー、卒後教育、生涯教育等）を社会に提供する努力がなされていますか？」の問に対して、各大学で卒後教育、生涯教育、公開講座、職場体験学習生の受け入れなどを通じた活動により、4校において「おおむね適切である / 充分機能している」と自己評価した。この評価は、前回調査と同様な傾向と考えられる。
- ② 「動物病院において、研修獣医師制度を設けていますか？また、制度は適切に運営されていますか？」の問に対して、すべての大学で制度が整備され、「おおむね適切である / 充分機能している」あるいは「適切な部分が多い / おおむね機能している」と自己評価した。
- ③ 「教育研究上において、他大学との適切な関係が構築されていますか？」の問に対して、すべての大学において、他大学との共同研究、見学実習生の受け入れ、単位互換、公開セミナー、講師の招聘などの実績から、「おおむね適切である / 充分機能している」あるいは「適切な部分が多い / おおむね機能している」と、前回とほぼ同様な自己評価を行っている。
- ④ 「大学と地域社会の協力関係は構築されていますか？」の問に対して、全ての大学において、二次診療、インターンシップ・職場体験の受入、公開セミナーの実績から、前回と同じく、関係の構築が「あり」と自己評価した。
- ⑤ 各大学において、上記の実績と評価から、「おおむね適切である / 充分機能している」あるいは「適切な部分が多い / おおむね機能している」と自己評価した。

10. 社会的責務

表10-①社会的機関として必要な、動物病院の組織倫理に関する規定はありますか？

大学	有無	コメント
酪農大	有	附属動物医療センター規程を制定している。
北里大	無	大学の組織倫理規程はあるが、動物病院独自のものはない。この点に関しては、動物病院における倫理規程を早急に制定する必要がある。
日獣大	無	動物病院の組織に合わせた倫理規定の作成が課題である。
麻布大	無	動物病院規則、運営会議規則等はあるが、その他の多くは大学規則に準拠しており、動物病院の状況に合わせた規則の作成が今後の課題である。
日大	有	日本大学生物資源科学部付属家畜病院規程がある。

表10-②組織倫理に関する規定に基づき、適切な運営はされていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	2	学校法人酪農学園教職員倫理規程および附属動物医療センター規程に基づき適切に運営されている。
北里大	2	動物病院独自の組織倫理規程は無いが、学部の規程に準拠して適切に運営されている。
日獣大	1	動物病院独自の倫理規定は無いが、動物医療センター倫理委員会が動物病院とは独立した委員会として運営され、病院内で行われる臨床治験について検証している。
麻布大	2	規則に基づき適切に運営されているが、規則にない部分に関しては改善が必要かもしれない。
日大	1	大学生物資源科学部付属家畜病院規程に基づいて運営されている。臨床研究や臨床治験を実施する際には、臨床研究・治験審査委員会により審査を行っている。

表10-③動物病院における外部・内部への危機管理体制が整備され、かつ適切に機能していますか？

大学	評価	コメント
酪農大	1	火災、震災等の対応は大学、ならびに附属動物医療センター独自のマニュアルを整備している。
北里大	3	本学の動物病院には、独自の危機管理マニュアルおよび危機管理委員会等の設置がないため、今後、動物病院を中心とした危機管理体制を構築する必要がある。
日獣大	3	大学としては整備されているが、動物医療センターとしては現時点では整備されていない。

麻布大	2	大学で整備している危機管理マニュアル、動物病院における緊急連絡網の作成、監視カメラの設置等、危機管理体制は整備されているが、適切に機能しているとは言い難く、訓練が必要である。
日大	1	個人情報保護に関する規定、麻薬・向精神薬の管理、防犯カメラの設置、総合参加型臨床実習実施にともなう飼い主への説明（口頭、ウェブサイト、掲示）、また、医療安全管理委員会を設置している。

表10-④臨床教育研究の成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制は整備されていますか？

大学	評価	コメント
酪農大	3	ホームページを開設し、適宜必要な情報を発信している。学内には年度報告を行っている。
北里大	1	学部ホームページなどに各研究室単位で研究成果を公表している。
日獣大	3	学内に対しては毎年、研究報告を発刊して業績集とともに作成しているが、学外に対しては整備されていない。
麻布大	1	各臨床教員の業績報告は毎年なされており、公表されている。またホームページを開設し広報活動する体制は整っている。
日大	1	学会発表および動物病院ウェブサイトで広報体制を整備している。

表10-⑤社会的責務に対する自己点検・評価をしてください。

大学	評価	コメント
酪農大	2	大学の附属動物医療センターとして責務を果たすべく、教職員が一体となり、取り組んでいる。
北里大	1	教育活動については、人材の養成に関する目的を挙げ、具現化するためのディプロマポリシー、カリキュラムポリシーなどを学生便覧、ホームページに記載し、学生および教職員の教育に関する情報を公表している。 研究活動については、不正行為の事前防止及び不正行為への対応における規程・体制の整備等に取り組み、教職員や学生に対して、研究倫理教育を実施し研究者倫理の向上を図っている。全学的に「研究支援センター」が年に1~2回、科学研究費補助金の獲得や研究倫理に関する講演会を開催している。また、「CITI Japan プロジェクト」のe-learningを利用し教職員（公的研究費を担当する事務職員含む）に対して5年に1度の受講を義務付けており、受講率等を厳格に管理している。 さらに、自己点検・評価及び第三者評価の結果を踏まえてPDCAサイクルを回し改善に繋げている。
日獣大	2	動物医療センターは地域住民並びに開業獣医師からの紹介症例を中心に受診する二次診療施設としての役割が大である。一方で、動物医療センターで勤務するスタッフの人員不足から広く社会的な責務を果たしているとは言い難い。教育面も含めて動物医療センターの拡充の検討を開始している。

麻布大	2	適切な部分は多いが、さらなる改善が必要であると思われる。
日大	1	動物病院は、家族の一員として動物の命をあずかっていることから、飼い主からの期待、社会からの要請に即した病院の危機管理体制の構築を引き続き努力したい。

11. 私立獣医科大学の臨床教育・動物病院の全体評価（数値化）

各設問に対する回答において、評価番号「1」を3点、評価番号「2」を2点、評価番号「3」を1点、評価番号「4」及び「該当なし」を0点として数値化した。

（評価番号）

「1」：おおむね適切である／充分機能している

「2」：適切な部分が多い／おおむね機能している

「3」：適切でない部分が多い／機能していない部分が多い

「4」：適切でない／ほとんど機能していないなど。

なお、選択肢が「有・無」だけのものについては、その標記のみとした。

また、自由記載の回答については、集計表から除外した。

酪農学園大学	北里大学	日本獣医生命科学大学	麻布大学	日本大学
--------	------	------------	------	------

1 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標など

1-1 臨床教育の理念・目的・目標

①理念をふまえた、臨床教育目的・目標が設定されていますか？	有	有	有	有	有
②臨床教育目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものですか？	2	2	3	3	3
③臨床教育目的・目標に添った方針（アクション・ポリシー）は設定されていますか？	有	有	有	有	有
④臨床教育目的・目標・方針が学生および教員に周知されていますか？	2	3	3	3	3
⑤臨床教育目的・目標・方針が学外に公表されていますか？	有	有	有	有	有

1-2 動物病院の理念・目的目標

①理念をふまえた動物病院の目的・目標が明確に設定されていますか？	有	有	有	有	有
②動物病院の目的・目標は、大学の使命、学習者の要求や社会的需要を加味したものですか？	3	2	2	3	3
③動物病院の目的・目標に沿った方針（アクション・ポリシー）は設定されていますか？	有	有	有	有	有
④動物病院の目的・目標・方針が学生および教員に周知されていますか？	2	2	2	3	3
⑤動物病院の目的・目標・方針が学外に公表されていますか？	有	無	有	有	有

1-3 動物病院の目的・目標・方針に対する自己点検・評価をしてください。	1	2	3	2	2
--------------------------------------	---	---	---	---	---

1 臨床教育および動物病院の理念・目的・目標など 計	10	11	13	14	14
----------------------------	----	----	----	----	----

2 教育研究組織（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて）

2-1 臨床教育研究組織

①臨床教育研究が充分できるような、適切な組織上の配慮、措置はありますか？	1	3	3	2	3
②臨床教育研究を進めるにあたり、学内での意志決定機関は確立され、適切に機能していますか？	2	3	3	3	3
③臨床教育研究組織が大学の使命・目標や学習者の要求に対応できるよう、充分機能しているか？	2	3	3	3	3

2-2 臨床教育研究の管理体制

①臨床教育研究を進めるにあたり、運営責任を含めた管理体制は確立されていますか？	2	3	3	3	3
---	---	---	---	---	---

2-3 臨床教育研究組織内での動物病院の位置づけ

①臨床教育研究組織と動物病院組織は別個に設定してありますか？	有	有	有	有	有
②臨床教育研究組織と動物病院組織は関連性がありますか？	有	有	有	有	有

2-4 臨床教育研究組織に対する自己点検・評価をしてください。	2	3	3	3	2
---------------------------------	---	---	---	---	---

2 教育研究組織（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて） 計	9	15	15	14	14
-------------------------------------	---	----	----	----	----

3 教育課程・教育方法（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて）

3-1 教育課程

①臨床教育目的を達成するために教育課程の編成方針は適切に設定されていますか？	3	3	3	3	3
②臨床教育において、授業科目および単位が適切に編成されていますか？	3	3	3	3	3
③教育課程の編成方針に則した授業科目・授業内容になっていますか？	3	3	3	3	3
④倫理面からの教育はなされていますか？	有	有	有	有	有
⑤臨床教育において、実践・実務能力を育成する教育を実践していますか？	2	3	2	3	3
⑥臨床系所属教室（研究室）への研究教育経費などは適切に分配されていますか？	2	3	2	3	3

3-2 教育方法

①教育方針・目的は授業内容・教育方法などに充分反映されていますか？	3	3	2	3	3
②方針に則した授業内容・授業科目は適切に設定されていますか？	3	3	2	3	3
③シラバスが作成され適切に活用されていますか？	有	有	有	有	有
	2	3	2	3	3
④モデル・コア・カリキュラムに示された内容を教授していますか？	3	3	3	3	3
⑤動物病院を活用した教育研究指導の配慮はなされていますか？	有	有	有	有	有
⑥動物病院を活用した実践的教育の実施方法は適切に整備されていますか？	3	2	2	3	3
⑦動物病院を活用した実践的教育の実施方法は適切に整備されていますか？	0	3	2	2	3
⑧参加型臨床実習は適切に実施されていますか？	3	3	2	3	3

3-3 結果に対する評価

①教育学習結果に対しての評価システムはありますか？ある場合、適切に機能していますか？	有	有	有	有	有
	3	3	3	3	3

3-4 臨床教育における独自の工夫を記述してください

--	--	--	--	--	--

3-5 教育課程の教育方法に対する自己点検・評価をしてください

	2	3	2	3	2
--	---	---	---	---	---

3 教育課程・教育方法（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて） 計

	35	41	33	41	41
--	----	----	----	----	----

4 学生（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて）

4-1 学生

①臨床教育に相応しい環境の確保のため、学生数は適切に確保されていますか？	3	3	3	3	3
②基礎系教室（研究室）の学生の臨床系教室への転向、またはその逆の転向はありますか？	有	無	有	有	有

4-2 学習支援体制

①学生への学習支援体制が整備され、適切に運営されていますか？	2	3	3	3	3
②基礎系研究生の学生が臨床系研究室の研究内容に触れる機会がありますか？	有	有	有	有	有
③学生に対する健康診断、心的支援、生活相談等が行われていますか？	有	有	有	有	有
④学生に対する就職・進学相談、助言体制が整備され、適切に運営されていますか？	2	3	3	3	3
⑤学生サービスに対する学生からの意見などをくみ上げるシステムはありますか？	有	有	有	有	有

4-3 学生受け入れに対する自己点検・評価をしてください。

	2	3	3	3	3
--	---	---	---	---	---

4 学生（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて） 計

	9	12	12	12	12
--	---	----	----	----	----

5 教職員（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて）

5-1 教員

①臨床教育組織に必要な人員は確保されているか？	1	1	1	1	1
②臨床系構成（専任、兼任、臨時、年齢、専門分野）のバランスはとれていますか？	1	2	1	2	1
③臨床系構成で補充したい分野はありますか？	有	有	有	有	有
④臨床教育の目標を達成するための、臨床系教員の教育担当時間配分は適切ですか？	1	1	1	1	2

5-2 教員への支援体制

①臨床系教員の採用・昇任への基準はありますか？	有	有	有	有	有
②臨床系教員の研究教育活動を支援するためにTA(Teaching Assistant)等が適切に活用されていますか？	3	2	3	2	3
③研究教育目的を達成するための研究教育費が適切に配分されていますか？	2	3	1	2	3
④研究教育活動の向上のためにFD等の取り組みが適切になされていますか？	2	3	3	3	3
⑤臨床系教員の研究教育活動を活性化するための評価体制が整備され適切に運用されていますか？	1	3	1	2	0

5-3 職員

①動物病院に必要な職員が確保され、適切に配置されていますか？	1	1	2	1	2
②動物病院の職員の採用・昇任・異動の方針が明確にされ、適切に運用されていますか？	1	1	3	3	-
③職員の資質向上のための研修(SDなど)の取り組みが適切になされていますか？	3	1	2	3	3
④動物病院の運営のための車務体制が構築され、適切に機能していますか？	2	2	3	2	3

5-4 教職員に対する自己点検・評価をしてください。	1	2	1	2	2
----------------------------	---	---	---	---	---

5 教職員（動物看護師教育を行っている大学ではそれも含めて） 計	18	22	22	24	23
----------------------------------	----	----	----	----	----

6 管理運営

6-1 管理運営

①動物病院における運営管理体制が整備され、適切に配置されていますか？	2	3	3	3	2
②動物病院における管理部門と教育部門の連携が適切になされていますか？	3	3	3	3	2
③臨床系教員の、動物病院内での教育研究指導への配慮は適切になされていますか？	3	2	2	3	3
④臨床研修と教育を両立させるための配慮は充分されていますか？	2	2	3	2	1
⑤動物病院運営にあたり、危機管理体制は整っていますか？	2	2	1	2	2
⑥管理運営体制に対する自己点検・評価をしてください。	2	2	3	2	2

6 管理運営 計	14	14	15	15	12
----------	----	----	----	----	----

7 財務

①動物病院に必要な経費が確保され、かつ収入と支出のバランスが配慮されていますか？	2	2	3	2	3
②動物病院の会計処理は適正になされていますか？	3	2	3	2	3
③動物病院の財務情報の公開が適切になされていますか？	3	2	3	3	3
④外部資金の導入（委託事業・収益事業など）の努力はされていますか？	有	有	有	有	無
⑤運営管理体制に対する自己点検・評価をしてください。	2	2	3	2	3

7 財務 計	10	8	12	9	12
--------	----	---	----	---	----

8 研究教育環境

①研究教育環境として、動物病院は整備され、かつ有効に活用されていますか？	2	3	3	2	3
②研究教育活動の目的を達成するための施設設備が適切に維持・運営されていますか？	3	3	3	3	3
③動物病院の施設設備の安全性は確保されていますか？	3	2	3	2	3
④研究教育環境に対する自己点検・評価をしてください。	3	2	3	2	3

8 研究教育環境 計	11	10	12	9	12
------------	----	----	----	---	----

9 社会連携

①動物病院が物的・人的資源（施設の解放、臨床セミナー、卒後教育、生涯教育等）を社会に提供する努力がなされていますか？	有	有	有	有	有
	3	3	3	2	3
②動物病院において、研修獣医師制度を設けていますか？また、制度は適切に運営されていますか？	有	有	有	有	有
	2	3	3	2	3
③教育研究上において、他大学との適切な関係が構築されていますか？	2	3	3	2	3
④大学と地域社会の協力関係は構築されていますか？	有	有	有	有	有
⑤社会連携に対する自己点検・評価をしてください。	2	2	3	2	3

9 社会連携 計	9	11	12	8	12
----------	---	----	----	---	----

10 社会的責務

①社会的機関として必要な、動物病院の組織倫理に関する規定はありますか？	有	無	無	無	有
②組織倫理に関する規定に基づき、適切な運営はされていますか？	2	2	3	2	3
③動物病院における外部・内部への危機管理体制が整備され、かつ適切に機能していますか？	3	1	1	2	3
④臨床教育研究の成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制は整備されていますか？	1	3	1	3	3
⑤社会的責務に対する自己点検・評価をしてください。	2	3	2	2	3

10 社会的責務 計	7	9	7	9	12
------------	---	---	---	---	----

酪農学園大学	北里大学	日本獣医生命科学大学	麻布大学	日本大学
134	153	153	155	164

Ⅲ 大学別自己点検・評価の別紙資料

酪農学園大学

1-1. 獣医学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
伴侶動物外科学I	2
伴侶動物外科学II	1
伴侶動物内科学I	1
伴侶動物内科学II	2
画像診断学*	2
獣医麻酔学	2
動物生殖学	2
生産動物内科学I	2
生産動物内科学II	2
生産動物外科学	2
臨床検査学	1

* 1名は放射線生物学所属

1-2. 獣医保健看護学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
生産動物看護研究室	1
動物疾病治療研究室	1
動物集中治療研究室	1
動物理学療法研究室	1

2-1. 獣医学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
獣医衛生学実習	1	2	
ハードヘルス学実習	1	2	
産業動物臨床実習A	1	5	
産業動物臨床実習B	1	5	
臨床繁殖学実習	1	2	
獣医臨床基礎演習	1	25	
伴侶動物内科学実習	1	3	1
獣医麻酔疼痛管理学実習	1	3	
伴侶動物外科学実習	1	4	1
画像診断学実習	1	3	
クリニカルローテーション	3	19	
生産動物医療クリニカルローテーション*	5	8	1
伴侶動物医療クリニカルローテーション*	5	9	1

*は選択必修

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
学外実習	1	1	

2-2. 獣医保健看護学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
基礎動物看護技術実習A	2	2	
基礎動物看護技術実習B	2	4	
動物外科看護技術実習	2	7	
動物臨床検査学実習A	2	2	
動物臨床検査学実習B	2	5	
総合臨床実習A	2	16	
学外動物病院実習 A	2	1	
学外動物病院実習 B	2	1	
動物ハンドリング学実習	1	1	

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
動物理学療法学実習	1	1	
総合臨床実習B	2	21	

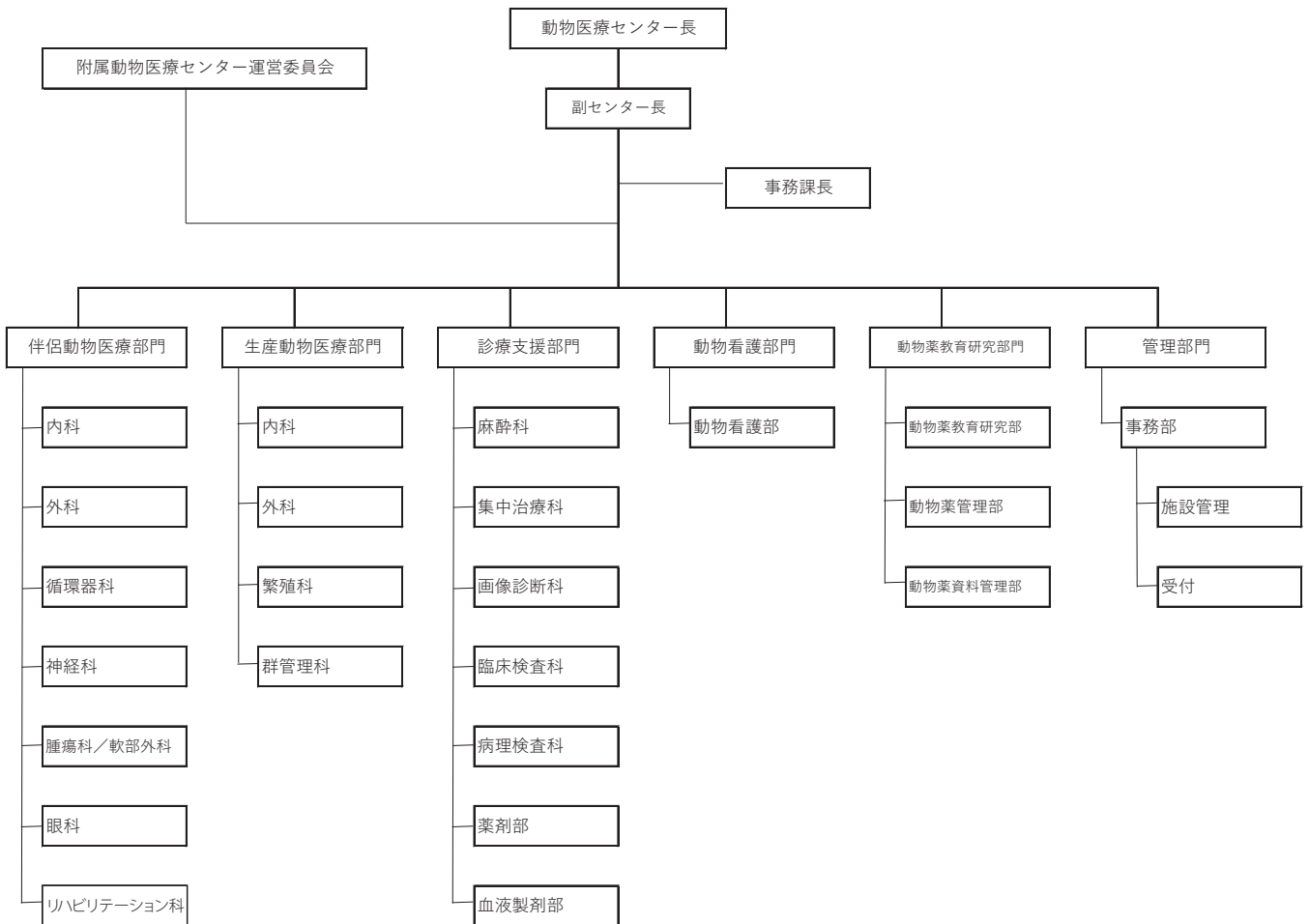
3-1. 獣医学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	21/7	16/7	7/2	6/3	19
構成率 (%)	33.3	43.8	28.6	50	—

3-2. 獣医保健看護学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	9/2	9/2	0	0	4
構成率 (%)	22.2	22.2	0	0	—

附属動物医療センター組織図



5. 動物病院の診療科名と教員数

診療科名	教員数
伴侶動物医療部門	
内科	3
外科	1
腫瘍科	2
循環器科	0
神経科	1
眼科	1
リハビリテーション科	1
生産動物医療部門	
内科	2
外科	3
繁殖科	3
群管理科	2
診療支援部門	
麻酔科・集中治療科	3
画像診断科	3
臨床検査科	1
病理検査科	3
血液製剤部	1

※嘱託助手含む

30

6. 診察要員

1) 小動物関係

教員数	
専任獣医師	20
有給研修獣医師	8
無給研修獣医師	0
動物看護師	5
検査技師（含む薬剤師）	2
その他（器具洗浄）	0
合計	35

2) 産業動物関係

教員数	
専任獣医師	10
有給研修獣医師	0
無給研修獣医師	0
動物看護師	3
検査技師（含む薬剤師）	2
その他（器具洗浄）	0
合計	15

獣医師は大学の獣医学群所属

放射線技師・薬剤師は小動物・産業動物の両方に関わるため各2名で記載

7. 動物病院の支援人員

教員数	事務系職員	技術系職員	動物看護師	研修獣医師	その他
現員数	8	4	8	8	0
一人あたりの平均延べ 支援時間（h/週）	37.5	37.5	37.5	40	0

8. 動物病院の総面積と診療収入

1) 小動物関係

総面積	7829.97㎡
診療収入	247,088千円

2) 産業動物関係

総面積	3051.98㎡
診療収入	41,245千円

9. 現在の病院運営経費（令和元年度）

2019決算（千円）

人件費	107,625
消耗品費	56,144
光熱水費	19,356
旅費交通費	366
印刷製本費	1,130
通信運搬費	1,464
修繕費	3,732
公租公課費	35
賃貸費	4,025
損害保険費	706
報酬謝礼費	105
諸会費	781
委託手数料費	65,637
雑費	428
管理費	1,012
設備費	12,681
計	275,227

獣医師は大学の獣医学群所属のため人件費に含まない。

10. 動物病院の組織改編予定

検討中

11. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

1.5T Digital-MRスキャナシステム 一式

島津X線照射装置 TITAN-450

マルチディテクタCTスキャナーシステム

移動型デジタル式汎用X線透視診断装置

FPD搭載X線TVシステム

白内障手術装置一式 ボシュロム

心臓撮影機能搭載超音波診断装置

デジタル超音波診断装置

超音波診断装置 一式

超音波画像診断装置

外科用X線テレビシステム一式

外科手術用顕微鏡システム一式

一般X線撮影 間接変換FPD装置 一式

2) 今後の導入予定

CTスキャナーシステムやMRI、X線照射装置の更新について検討が必要

北里大学

1-1. 獣医学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
小動物第1内科学研究室	3
小動物第2内科学研究室	2
小動物第1外科学研究室	2
小動物第2外科学研究室	3
獣医放射線学研究室	3
獣医繁殖学研究室	2
大動物臨床学研究室	2
臨床教育推進室	1

1-2. 獣医保健看護学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
—	—

2-1. 獣医学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
獣医内科学	2	4	
獣医外科学	2	1	
麻酔学・救急医療学	1	2	
獣医臨床病理学	1	2	
獣医臨床放射線学	1	3	1
画像診断学	1	3	
小動物総合臨床学Ⅰ	2	2	2
小動物総合臨床学Ⅱ	2	1	1
小動物総合臨床学Ⅲ	2	3	1
臨床栄養学	1	1	
獣医臨床繁殖学	2	1	
大動物総合臨床学Ⅰ	2	1	
大動物総合臨床学Ⅱ	2	3	
大動物総合臨床学Ⅲ	2	2	2
獣医内科学実習	1	3	
獣医外科学実習	1	5	
麻酔学・救急医療学実習	0.5	5	
獣医臨床病理学実習	1	2	
画像診断学実習	0.5	3	
小動物総合臨床学実習Ⅰ	1	3	1
小動物総合臨床学実習Ⅱ	1	2	1
小動物総合臨床学実習Ⅲ	1	5	
臨床繁殖学実習	1	3	
大動物総合臨床学実習Ⅰ	1	3	
大動物総合臨床学実習Ⅱ	1	4	

大動物総合臨床学実習Ⅲ	1	4	
小動物病院実習	2	15	
大動物病院実習	1	8	
小動物参加型臨床実習Ⅰ	1	15	44
小動物参加型臨床実習Ⅱ	1	15	44
大動物参加型臨床実習Ⅰ	1	8	
大動物参加型臨床実習Ⅱ	1	8	11

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
エキゾチックアニマル	1	1	3
プロダクションメディスン	1	2	2

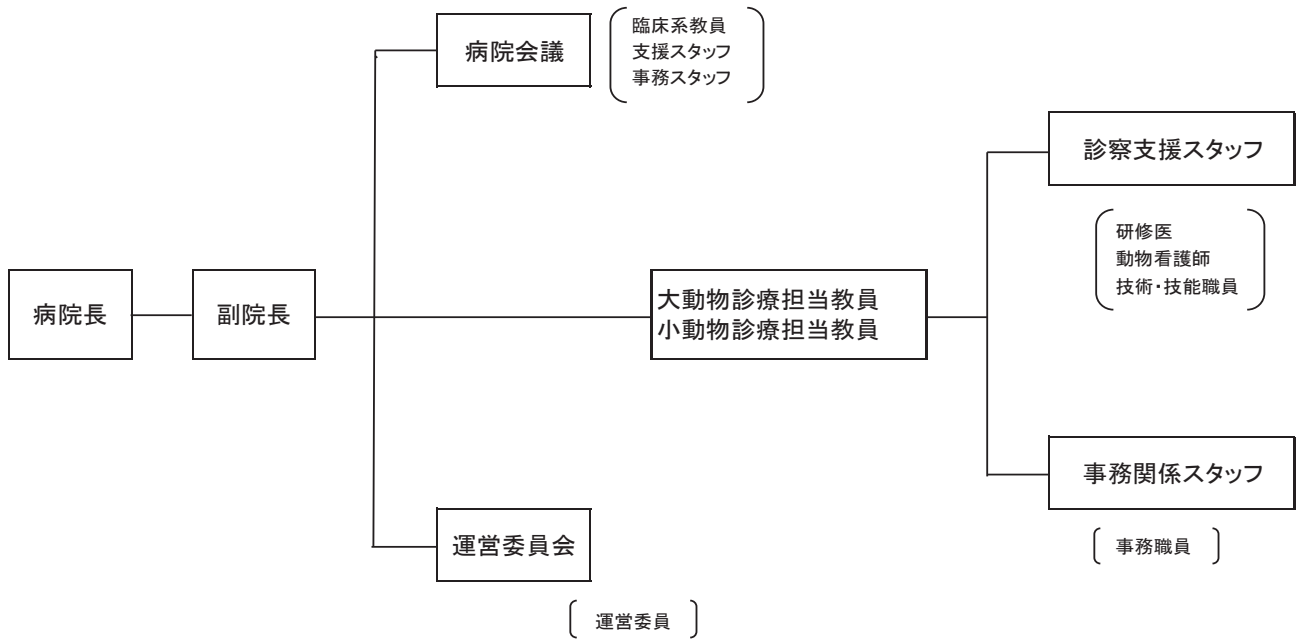
3-1. 獣医学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	7月15日	13/3	8/4	15/7	51/21
構成率 (%)	46.7	23.1	50	46.7	41.2

3-2. 獣医保健看護学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	—	—	—	—	—
構成率 (%)	—	—	—	—	—

4. 動物病院の案内図



5. 動物病院の診療科名と教員数

診療科名	教員数
小動物診療部門	
外科	5
内科	7
放射線科	3
大動物診療部門	
外科	3
内科	
繁殖科	3

6. 診察要員

1) 小動物関係

教員数	15
専任獣医師	0
有給研修獣医師	4
無給研修獣医師	0
動物看護師	4
検査技師（含む薬剤師）	1
その他（器具洗浄）	0
合計	24

2) 産業動物関係

教員数	6
専任獣医師	0
有給研修獣医師	0
無給研修獣医師	0
動物看護師	0
検査技師（含む薬剤師）	0
その他（器具洗浄）	1
合計	7

7. 動物病院の支援人員

教員数	事務系職員	技術系職員	動物看護師	研修獣医師	その他
現員数	4	2	4	4	0
一人あたりの平均延べ 支援時間（h/週）	38	38	38	38	0

8. 動物病院の総面積と診療収入

1) 小動物関係

2019年度実績

総面積	3,863m ²
診療収入	171,586,326円

2) 産業動物関係

2019年度実績

総面積	1,009m ²
診療収入	13,654,270円

9. 現在の病院運営経費（令和元年度）

	132,304,840円
計	132,304,840円

10. 動物病院の組織改編予定

無し

11. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

MRI

CT

Spect-CT

Pet-CT

放射線治療装置(LINAC)

2) 今後の導入予定

放射線治療装置が老朽化によって修理回数が増えているため、数年以内の更新を予定している

日本獣医生命科学大学

1-1. 獣医学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
獣医内科学	4
獣医内科学第二	2
獣医外科学	5
獣医放射線学	3
獣医臨床繁殖学	2
獣医臨床病理学	2
産業動物臨床学	3

1-2. 獣医保健看護学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
獣医保健看護学臨床部門	8

2-1. 獣医学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
獣医内科学総論	1	4	
獣医内科学実習Ⅰ（一般診断・治療）	1	4	
獣医内科学実習Ⅱ（一般診断・治療）	1	4	
獣医臨床病理学	2	2	
獣医臨床病理学実習	1	2	
獣医臨床薬理学	1	3	
獣医呼吸器病学	1	1	
獣医循環器病学	1	2	
獣医消化器病学Ⅰ（内科）	1	2	
獣医消化器病学Ⅱ（外科）	1	3	
獣医泌尿器病・生殖器病学Ⅰ	1	2	
獣医泌尿器病・生殖器病学Ⅱ	1	2	
獣医内分泌代謝学Ⅰ	1	1	
獣医内分泌代謝学Ⅱ	1	1	
獣医臨床栄養学	2	1	2
獣医血液病・免疫病学	1	2	
獣医皮膚病学	1	1	1
動物行動治療学	1		1
獣医外科学総論	1	1	
手術学総論	1	1	
獣医麻酔学	1	1	
獣医外科学実習Ⅰ-1（手術学）	1	5	
獣医外科学実習Ⅰ-2（手術学）	1	5	
獣医外科学実習Ⅱ（麻酔学）	1	5	
獣医軟部外科学Ⅰ	2	5	
獣医軟部外科学Ⅱ	2	3	

獣医運動器病学Ⅰ	1	2	
獣医運動器病学Ⅱ	1	3	
獣医臨床腫瘍学	1	2	2
獣医眼科学	1	1	
獣医神経病学	1	1	
獣医画像診断学Ⅰ（軟部）	1	2	
獣医画像診断学Ⅱ（運動器）	1	2	
獣医画像診断学実習	1	2	
生産動物臨床学Ⅰ	1	2	
生産動物臨床学Ⅱ	2	6	1
大動物臨床実習	1	3	
馬臨床獣医学	1		1
獣医臨床繁殖学Ⅰ	2	2	
獣医臨床繁殖学Ⅱ	2	2	
獣医臨床繁殖学実習Ⅰ	0.5	2	
獣医臨床繁殖学実習Ⅱ	1	2	
獣医救急医療学	2	12	
獣医総合実習（臨床）Ⅰ	2	9	
獣医総合実習（臨床）Ⅱ	4	8	
獣医総合実習（臨床）Ⅲ	2	10	

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
臨床獣医学概論	1	4	
鳥・特殊動物の臨床	1		1

2-2. 獣医保健看護学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
動物繁殖学	2	5	
動物繁殖学実習	1	4	
動物トレーニング学	2	2	1
動物トレーニング学実習Ⅰ	1	2	1
動物トレーニング学実習Ⅱ	1	2	1
臨床動物行動学	2	2	1
動物栄養学概論	2	2	1
動物看護学各論Ⅰ	2	2	
動物看護学各論Ⅱ	2	2	1
動物内科看護学	2	2	1
動物内科看護学実習Ⅰ	1	2	
動物内科看護学実習Ⅱ	1	4	
動物臨床検査学	2	1	1
動物臨床検査学実習Ⅰ	1	2	
動物医療検査学実習	1	2	
動物グルーミング理論実習b	1	1	
動物医療看護学Ⅱ	2	2	2
動物医療看護学Ⅱ実習	1	5	

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
動物医療看護学Ⅲ	2	2	1
動物医療看護学Ⅲ実習	1	7	
動物栄養学各論	2	1	4
動物栄養学各論実習a	1	2	

動物病院管理学	2	2	
動物病院管理学実習a	1	2	
動物病院管理学実習b	1	2	
動物病院実習a	1	1	
動物病院実習b	1	1	
動物医療センター実習Ⅰa	2	8	
動物医療センター実習Ⅰb	2	8	
動物医療センター実習Ⅱ	1	7	
臨床動物行動学	2	2	1
臨床動物行動学演習a	1	2	
臨床動物行動学演習b	1	2	1
動物医療看護学Ⅳ	2	3	1
動物医療看護学Ⅳ実習a	1	2	1
動物医療看護学Ⅳ実習b	1	2	1
動物繁殖学	2	5	
動物繁殖学実習Ⅱ	1	4	
エキゾチックアニマル論	2		1
アニマルケア論	2	1	3

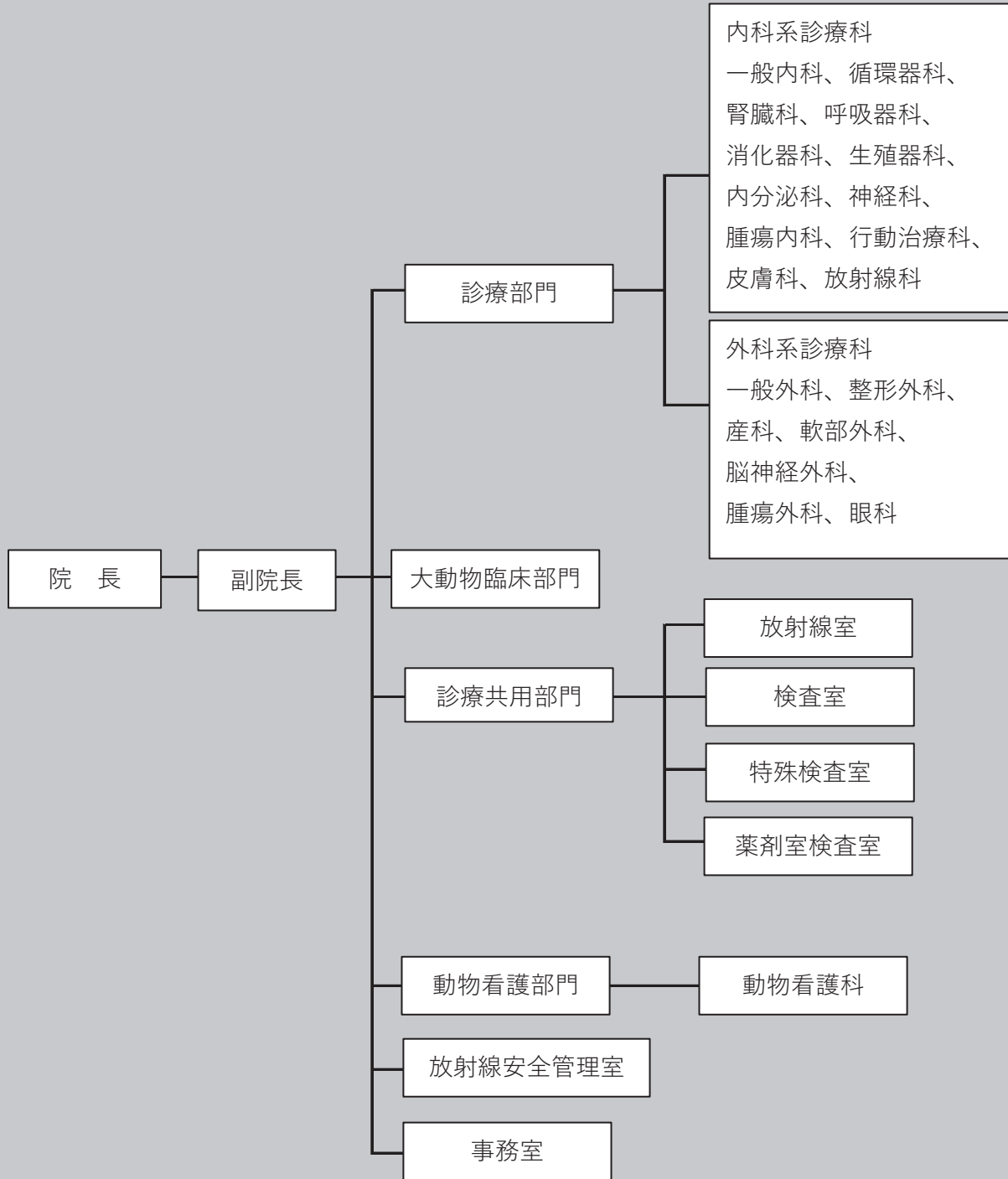
3-1. 獣医学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	8	5	7	1	21
構成率 (%)	38%	28%	37%	20%	—

3-2. 獣医保健看護学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	2	2	2	2	8
構成率 (%)	29%	40%	40%	50%	—

4. 動物病院の組織図



5. 動物病院の診療科名と教員数

診療科名	教員数
一般内科	5
循環器科	2
腎臓科	1
呼吸器科	3
内分泌科	3
皮膚科	2
消化器科	1
腫瘍内科	4
行動治療科	1
放射線科 画像診断 (MRI・CT)	1
放射線科 放射線がん治療	5
神経科	5
一般外科	3
整形外科	2
産科・生殖器科	3
軟部外科	3
脳神経外科	1
腫瘍外科	2
眼科	2

6. 診察要員

1) 小動物関係

教員数	27 (獣医学科24名、獣医保健看護学科3名)
専任獣医師	9
有給研修獣医師	26
無給研修獣医師	0
動物看護師	17
検査技師 (含む薬剤師)	2
その他 (器具洗浄)	0
合計	54

2) 産業動物関係

教員数	2
専任獣医師	0
有給研修獣医師	0
無給研修獣医師	0
動物看護師	0
検査技師 (含む薬剤師)	0
その他 (器具洗浄)	0
合計	2

7. 動物病院の支援人員

教員数	事務系職員	技術系職員	動物看護師	研修獣医師	その他
現員数	5	2	17	26	0
一人あたりの平均延べ 支援時間 (h/週)	38	38	38	40	0

8. 動物病院の総面積と診療収入

1) 小動物関係

総面積	2,262.99m ²
診療収入	606,335,000円

2) 産業動物関係

総面積	0m ²
診療収入	0円

9. 現在の病院運営経費（令和元年度）

人件費	224,457,000円
管理費	220,704,000円
医療経費	
教育研究用機器備品費	8,351,000円
計	453,512,000円

10. 動物病院の組織改編予定

今まで動物医療センターでは伴侶動物のみの診療としていたが、令和2年4月1日から大動物診療を正式にスタートし、動物医療センター内に小動物診療部門と大動物診療部門を整備した。

11. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

- ・ CT（キャノンX線CT装置 AquilioPRIME） 2013年7月3日取得
- ・ MRI（GE磁気共鳴断層撮影装置 Sigma HDx3.0T） 2010年2月1日取得
- ・ RT（リニアック放射線治療装置 エレクタシナジーSYNERGY/P330）
2018年9月20日取得
- ・ 人工心肺装置（人工心肺システム一式）2018年9月25日取得

2) 今後の導入予定

- ・ 腹部超音波診断装置（2021年3月末導入予定）
- ・ 電子カルテシステム一式（2021年4月1日運用開始予定）
- ・ 令和3年度以降にMRIの更新について検討している。

麻布大学

1-1. 獣医学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
小動物内科学	2
小動物外科学	6
臨床診断学	2
獣医放射線学	2
小動物臨床	4

1-2. 獣医保健看護学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
—	—

2-1. 獣医学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
獣医内科学	2	7	0
獣医外科学	2	4	0
臨床病理	2	7	0
小動物獣医総合臨床Ⅰ	2	7	0
小動物獣医総合臨床Ⅱ	2	7	0
小動物獣医総合臨床Ⅲ	2	7	0
小動物獣医総合臨床Ⅳ	2	6	0
獣医栄養学	2	1	0
獣医外科学実習	1	7	0
獣医放射線学	2	5	0
産業動物獣医総合臨床	6	10	0
獣医臨床繁殖学	2	1	0

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
産業動物臨床基礎実習	1	10	0
小動物病院実習	2	17	0
産業動物アドバンス実習	1	10	0

2-2. 獣医保健看護学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
—	—	—	—

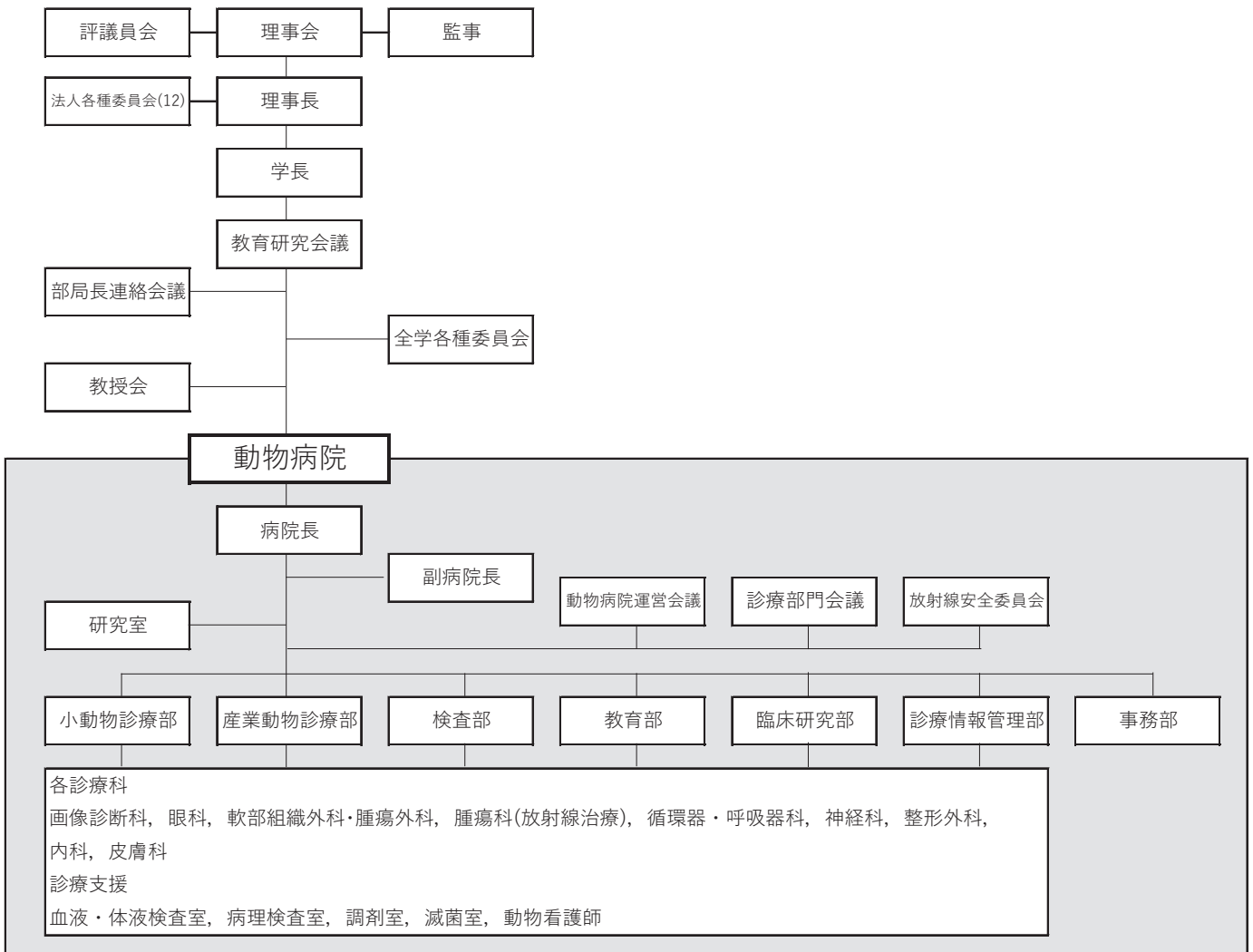
3-1. 獣医学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	3	6	4	3	16
構成率 (%)	14	46	24	43	28

3-2. 獣医保健看護学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	—	—	—	—	—
構成率 (%)	—	—	—	—	—

4. 動物病院の組織図



5. 動物病院の診療科名と教員数

診療科名	教員数
画像診断科	3
眼科	1
軟部組織外科・腫瘍外科	3
腫瘍科(放射線治療)	1
循環器・呼吸器科(内科・外科)	3
神経科	1
整形外科	2
内科	4
皮膚科	1
病理診断・細胞診断	2
産業動物	10

6. 診察要員

1) 小動物関係

教員数	
専任獣医師	21
有給研修獣医師	10
無給研修獣医師	65
動物看護師	9
検査技師（含む薬剤師）	10
その他（器具洗浄）	2
合計	117

2) 産業動物関係

教員数	
専任獣医師	9
有給研修獣医師	1
無給研修獣医師	0
動物看護師	0
検査技師（含む薬剤師）	0
その他（器具洗浄）	0
合計	10

7. 動物病院の支援人員

教員数	事務系職員	技術系職員	動物看護師	研修獣医師	その他
現員数	9	8	9	75	4
一人あたりの平均延べ 支援時間（h/週）	37.5	30.8	37.5	11.5	9.4

8. 動物病院の総面積と診療収入

1) 小動物関係

総面積	2206.3㎡
診療収入	334,571,434円

2) 産業動物関係

総面積	1888.98㎡
診療収入	14,931,440円

9. 現在の病院運営経費（令和元年度）

人件費	176,534,181円
教育研究経費(病院運営費配分)	152,913,014円
管理経費(病院運営費配分)	17,486,365円
減価償却費	78,485,947円
計	425,419,507円

10. 動物病院の組織改編予定

なし

11. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

東芝超伝導磁石式MR装置

X線CT装置

Cアーム

小動物X線装置

超音波画像診断装置

高圧蒸気滅菌機

手術用顕微鏡

超音波診断装置

腹腔鏡

多項目自動血球分析装置

血液生化学検査機器

リニアアクセルレータ

放射線治療計画装置

全身用X線CT装置

超音波白内障・硝子体手術システム

2) 今後の導入予定

超音波白内障・硝子体手術システム

日本大学

1-1. 獣医学科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
獣医臨床繁殖学研究室	2
獣医外科学研究室	3
獣医臨床病理学研究室	2
獣医皮膚病学研究室	1
獣医内科学研究室	1
獣医消化器病学研究室	1
獣医放射線学研究室	3
獣医麻酔・呼吸器学研究室	2
獣医神経病学研究室	2
獣医産業動物臨床学研究室	2
獣医病理学研究室	2

1-2. 獣医保健看護学科科 臨床系講座・教室（研究室）名

講座・教室名	専任教員数
—	—

2-1. 獣医学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
獣医画像診断学A	2	2	
獣医臨床繁殖学A	2	2	1
獣医外科学総論	1	4	
獣医手術学総論	1	4	
馬臨床学	1	3	1
産業動物臨床学A	1	2	
獣医内科学総論	1	2	1
獣医内分泌代謝病学	1	2	
獣医臨床病理学	2	3	
獣医血液免疫病学	1	3	
獣医皮膚病学	1	2	
獣医臨床繁殖学B	2	2	
獣医臨床繁殖学実習	1	2	
獣医軟部組織外科学	2	3	
産業動物臨床学B	2	2	
獣医呼吸循環器病学	2	3	
獣医運動器病学	1	2	
獣医麻酔学	1	2	
獣医臨床行動学	1	1	1
小動物内科学実習A	1	4	1
小動物外科学実習A	1	5	
獣医臨床病理学実習	1	3	
獣医消化器病学	2	2	
獣医臨床腫瘍学	1	3	
獣医画像診断学B	1	2	

獣医泌尿生殖器病学	2	4	
総合参加型臨床実習	6	19	
産業動物臨床実習	1	4	
獣医眼科学	1	1	1
獣医神経病学	1	2	
獣医臨床薬理学	1	2	1
獣医臨床栄養学	1	2	1
小動物内科学実習B	1	7	
小動物外科学実習B	1	3	
獣医画像診断学実習	1	3	

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
獣医再生医療学演習	1	5	2

2-2. 獣医保健看護学科 臨床系教育科目・単位数・教員数

a 必修科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
—	—	—	—

b 選択科目

科目名	単位	教員数	非常勤教員数
—	—	—	—

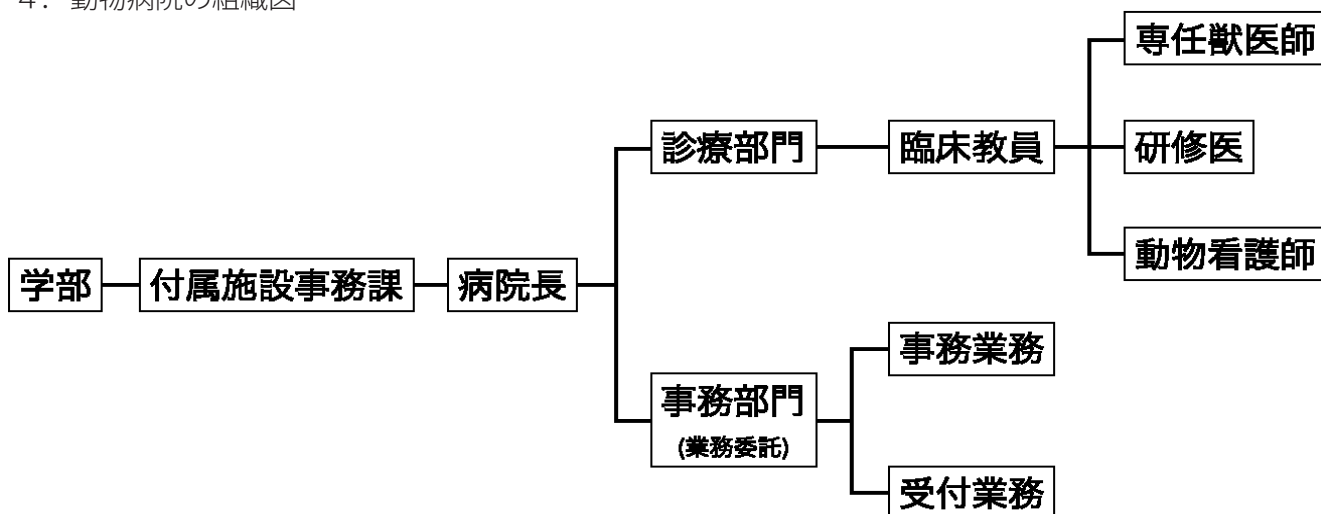
3-1. 獣医学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	8	5	6	1	20
構成率 (%)	40	25	30	5	—

3-2. 獣医保健看護学科 臨床系担当教員の構成率

	教授 (総数/臨床系)	准教授 (総数/臨床系)	講師 (総数/臨床系)	助教 (総数/臨床系)	合計
人数	—	—	—	—	—
構成率 (%)	—	—	—	—	—

4. 動物病院の組織図



5. 動物病院の診療科名と教員数

診療科名	教員数
一般外科	3
整形外科	1
神経	3
麻酔科	2
呼吸器科	1
消化器科	2
腫瘍科	3
放射線腫瘍科	2
皮膚科	1
一般内科	3
血液病科	2
臨床検査科	3
病理検査科	2
産科繁殖科	2
産業動物科	3

6. 診察要員

1) 小動物関係

教員数	20
専任獣医師	8
有給研修獣医師	18
無給研修獣医師	35
動物看護師	6
検査技師（含む薬剤師）	2
その他（器具洗浄）	0
合計	89

2) 産業動物関係

教員数	4
専任獣医師	0
有給研修獣医師	0
無給研修獣医師	0
動物看護師	0
検査技師（含む薬剤師）	0
その他（器具洗浄）	0
合計	4

7. 動物病院の支援人員

教員数	事務系職員	技術系職員	動物看護師	研修獣医師	その他
現員数	12	2	6	18	8
一人あたりの平均延べ 支援時間（h/週）	40	40	40	40	40

8. 動物病院の総面積と診療収入

1) 小動物関係

総面積	3,783 m ²
診療収入	434,201,750 円

2) 産業動物関係

総面積	520 m ²
診療収入	0 円

9. 現在の病院運営経費（令和元年度）

教育研究経費	271,950,000 円
管理経費	10,000 円
設備関係支出	30,000,000 円
計	301,960,000 円

10. 動物病院の組織改編予定

なし

1 1. 動物病院における現在の高額機器の設置状況と今後の導入予定

1) 現在の設置状況

320列マルチスライスCT

1.5テスラ超電導型MRI

放射線治療装置 (LINAC)

フラットパネルX線装置

CアームX線装置

カラードプラ超音波診断装置

各種内視鏡システム

人工心肺装置

2) 今後の導入予定

フラットパネルX線装置 (更新)